## 2024年度 受講にあたっての注意事項

### 環境建設工学科の学生のみなさんへ

環境建設工学科 教員一同

東北学院大学工学部環境建設工学科は、2007 (平成19) 年5月に日本技術者教育認定機構 (JABEE) より、JABEE プログラムに認定されました。これにより、本学科の2007 (平成19) 年3月以降の JABEE プログラムを修了した卒業生全員に対して、国家資格である「技術士補」 (本1) の資格が認定されます (本2)。この認定を維持するためには、本学科の教育内容が JABEE の要求項目を満たしていることを確認してもらうために、定期的に審査を受けることが必要です。

なお、本学科は、JABEE 認定の有無にかかわらず、学習・教育時間を確保することが、これからの大学教育および技術者教育に不可欠と考えています。

#### 〈学習・教育時間の確保について〉

東北学院大学試験施行細則第7条(3)では、受験を許可しない場合の条件の一つとして「科目登録を行っている科目であっても、総授業時間の5分の1を超えて欠席し、科目担当教員が当該科目の受験を許可しない場合」が示されています。JABEE の教育目標を考え、当学科ではこれを厳格に適用します。すなわち、「総授業時間の5分の1を超えて欠席した場合には、担当教員が受験を許可することはありません」ので、受験はできません。このため、本学科では出席の管理を厳しく行っており、不正な方法で出席を偽った場合には厳しく対処します。許容される欠席回数は、具体的には次のようになります。講義については、許される欠席回数は15回の授業科目は3回まで(30回の授業科目は6回まで)とします。なお、一部の授業では学生証により出席の管理を行います。授業には必ず学生証を持参してください。

- 注1) 技術士補とは、技術士に準ずる資格で、みなさんが将来技術士を受験するためには、技術士補の 資格を得てから通算で4年を超える実務経験が必要になります。技術士は、土木・建築のみなら ず電気や機械などの工学に関する様々な分野において、一流の技術者であることを認める資格で す。企業においては、技術士の人数がその会社の技術力の指標にもなっています。
- 注2) 資格取得に際しては本人の申請手続きが必要になります。

# 【環境建設工学科の学習・教育到達目標と達成度】

学習・教育到達目標達成度チェック表(2023年度入学生より)

項目		学習・教育目標	科目数	達成科 目数
A		地球環境問題などに対する多面的視点を持ちつつ、東北という地域特性を 理解した環境建設技術者としての視点を身につける[多面的視点を持つ技 術者]	25	6
В		キリスト教を通して社会人としての良識と一般教養を着実に身につけるとともに、技術者としての倫理観を備え、科学技術と自然・社会との関わりを考えて行動できる素養を身につける[社会人としての良識と技術者倫理]	9	5
С	C - 1	数学、自然科学と工学基礎に関する知識や学力を修得し、それを問題解決 に活用できる応用力を身につける [数学、科学技術の知識と応用能力]	16	8
	C - 2	情報技術に関する基本的な知識とスキルを修得し、実社会で活用できる能力を身につける[情報技術のスキルと応用能力]	4	2
	D	環境建設工学における基礎的な専門知識と学力を修得し、中核となる技術 者として応用・展開できる能力を身につける[専門科目の基礎学力と応用 能力]	16	13
Е		社会の要求を解決するために科学技術に関する情報を積極的に入手し、課題に対する計画、遂行、分析・評価、改善のサイクルを通じて、問題解決のための能力を身につける[問題解決のためのデザイン能力]	6	6
T.	F - 1	技術的・社会的に十分通用する日本語を使える能力を身につける [日本語表現能力]	6	5
F	F - 2	英語によるコミュニケーション基礎能力を修得する [国際コミュニケーション基礎能力]	7	4
G		卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事 さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得 に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。	7	7
Н		卒業研修・実験・演習・実習などを通じて、計画立案、遂行、とりまとめ までを自ら行うことのできる能力を身につける [立案能力と総括能力]	4	4

各教育目標に対応する科目については、別に配布する「達成度の自己点検表」を見てください。

## 卒業研究 I の単位修得について

卒業研究」は以下の教育目標に対応する科目です。卒業研究」の単位修得に関する評価項目は以下の通りです。

項目	関連する教育目標	評 価 項 目
1	Е	課題の問題と背景を理解し、それを解決する方法を導き適切に実施する ことにより、課題を解決している。
2	F – 1	ゼミや中間報告の資料が、背景・目的・結果・考察等、一貫性のある内容を有し、まとめられ、理解しやすいように作成されている。
3	G	前期を通じて、卒業研究に対して自ら積極的に学び、取り組んでいる。
4	Н	自ら研究・調査を計画・実行し、ゼミの資料や中間報告の資料を自分の 力でとりまとめて作成している。

### 卒業研究Ⅱの単位修得について

卒業研究Ⅱは以下の教育目標に対応する科目です。卒業研究Ⅱの単位修得に関する評価項目は以下の通りです。

項目	関連する教育目標	評 価 項 目
1	Е	課題の問題と背景を理解し、それを解決する方法を導き適切に実施する ことにより、課題を解決している。
2	F – 1	ゼミや中間報告の資料が、背景・目的・結果・考察等、一貫性のある内容を有し、まとめられ、理解しやすいように作成されている。
3		卒業論文発表会での学科教員による評価の平均点を用いる。
4	G	後期を通じて、卒業研究に対して自ら積極的に学び、取り組んでいる。
5	Н	自ら研究・調査を計画・実行し、卒業論文を自分の力でとりまとめて作成している。

## 環境土木工学総合演習Ⅰ・Ⅱの単位修得について

環境建設工学総合演習は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学総合演習の単位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	各科目に関する応用的な問題・課題を解くことができる。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。

## 環境土木工学実験の単位修得について

環境建設工学実験は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学実験の単位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	構造工学、水理学、地盤工学、材料・コンクリート工学、環境工学に関して実験 を通じて専門知識を習得するとともに、習得した専門知識を応用・展開する能力 を身につける。
E	実験結果について、分析評価し、解決することにより、デザイン能力の基礎を身につける。
F - 1	実験レポートの作成により、物事を説明するための文章能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。
Н	実験を通して、計画立案、遂行、とりまとめまでを自ら行うことのできる能力を 身につける。

## 土木工学設計製図の単位修得について

環境建設工学設計製図は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学設計製図の単位修得のために は以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	環境建設工学に関して製図を通じて専門知識を習得するとともに、習得した専門 知識を応用・展開する能力を身につける。
E	課題に関する設計について、成果を自ら分析評価しながら適切な構造物を設計する能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。

## フレッシュパーソンセミナーの単位修得について

フレッシュパーソンセミナーは、以下の教育目標に対応する科目です。フレッシュパーソンセミナーの単 位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
A	地球環境問題や建設技術に関するビデオを視聴し、地域特性を理解する。
В	技術者としての倫理を学ぶ
F – 1	レポート、発表や、教員とのコミュニケーションから日本語を使う能力を身につ ける。

## 環境建設工学概論の単位修得について

研究・発表の技法は、以下の教育目標に対応する科目です。研究・発表の技法の単位修得のためには、以 下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
E	実験、演習を通して、レポートにとりまとめることのできる能力を身につける。
F - 1	指定図書に関する発表・質疑応答を通じてコミュニケーション能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。
Н	実験、演習を通して、レポートに取りまとめることのできる能力を身につける。

## 2023年度 受講にあたっての注意事項

### 環境建設工学科の学生のみなさんへ

環境建設工学科 教員一同

東北学院大学工学部環境建設工学科は、2007 (平成19) 年5月に日本技術者教育認定機構 (JABEE) より、JABEE プログラムに認定されました。これにより、本学科の2007 (平成19) 年3月以降の JABEE プログラムを修了した卒業生全員に対して、国家資格である「技術士補」 (本1) の資格が認定されます (本2)。この認定を維持するためには、本学科の教育内容が JABEE の要求項目を満たしていることを確認してもらうために、定期的に審査を受けることが必要です。

なお、本学科は、JABEE 認定の有無にかかわらず、学習・教育時間を確保することが、これからの大学教育および技術者教育に不可欠と考えています。

#### 〈学習・教育時間の確保について〉

東北学院大学試験施行細則第7条(3)では、受験を許可しない場合の条件の一つとして「科目登録を行っている科目であっても、総授業時間の5分の1を超えて欠席し、科目担当教員が当該科目の受験を許可しない場合」が示されています。JABEE の教育目標を考え、当学科ではこれを厳格に適用します。すなわち、「総授業時間の5分の1を超えて欠席した場合には、担当教員が受験を許可することはありません」ので、受験はできません。このため、本学科では出席の管理を厳しく行っており、不正な方法で出席を偽った場合には厳しく対処します。許容される欠席回数は、具体的には次のようになります。講義については、許される欠席回数は15回の授業科目は3回まで(30回の授業科目は6回まで)とします。なお、一部の授業では学生証により出席の管理を行います。授業には必ず学生証を持参してください。

- 注1) 技術士補とは、技術士に準ずる資格で、みなさんが将来技術士を受験するためには、技術士補の 資格を得てから通算で4年を超える実務経験が必要になります。技術士は、土木・建築のみなら ず電気や機械などの工学に関する様々な分野において、一流の技術者であることを認める資格で す。企業においては、技術士の人数がその会社の技術力の指標にもなっています。
- 注2) 資格取得に際しては本人の申請手続きが必要になります。

# 【環境建設工学科の学習・教育到達目標と達成度】

学習・教育到達目標達成度チェック表(2023年度入学生より)

項目		学習・教育目標	科目数	達成科 目数
A		地球環境問題などに対する多面的視点を持ちつつ、東北という地域特性を 理解した環境建設技術者としての視点を身につける[多面的視点を持つ技 術者]	12	6
В		キリスト教を通して社会人としての良識と一般教養を着実に身につけるとともに、技術者としての倫理観を備え、科学技術と自然・社会との関わりを考えて行動できる素養を身につける[社会人としての良識と技術者倫理]	9	5
С	C - 1	数学、自然科学と工学基礎に関する知識や学力を修得し、それを問題解決 に活用できる応用力を身につける [数学、科学技術の知識と応用能力]	14	8
	C - 2	情報技術に関する基本的な知識とスキルを修得し、実社会で活用できる能力を身につける[情報技術のスキルと応用能力]	4	2
	D	環境建設工学における基礎的な専門知識と学力を修得し、中核となる技術 者として応用・展開できる能力を身につける[専門科目の基礎学力と応用 能力]	18	15
Е		社会の要求を解決するために科学技術に関する情報を積極的に入手し、課題に対する計画、遂行、分析・評価、改善のサイクルを通じて、問題解決のための能力を身につける[問題解決のためのデザイン能力]	6	6
E	F - 1	技術的・社会的に十分通用する日本語を使える能力を身につける [日本語表現能力]	6	5
F	F - 2	英語によるコミュニケーション基礎能力を修得する [国際コミュニケーション基礎能力]	6	4
G		卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事 さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得 に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。	8	8
Н		卒業研修・実験・演習・実習などを通じて、計画立案、遂行、とりまとめ までを自ら行うことのできる能力を身につける [立案能力と総括能力]	4	4

各教育目標に対応する科目については、別に配布する「達成度の自己点検表」を見てください。

## 卒業研究 I の単位修得について

卒業研究」は以下の教育目標に対応する科目です。卒業研究」の単位修得に関する評価項目は以下の通りです。

項目	関連する教育目標	評 価 項 目
1	Е	課題の問題と背景を理解し、それを解決する方法を導き適切に実施する ことにより、課題を解決している。
2	F – 1	ゼミや中間報告の資料が、背景・目的・結果・考察等、一貫性のある内容を有し、まとめられ、理解しやすいように作成されている。
3	G	前期を通じて、卒業研究に対して自ら積極的に学び、取り組んでいる。
4	Н	自ら研究・調査を計画・実行し、ゼミの資料や中間報告の資料を自分の 力でとりまとめて作成している。

### 卒業研究Ⅱの単位修得について

卒業研究Ⅱは以下の教育目標に対応する科目です。卒業研究Ⅱの単位修得に関する評価項目は以下の通りです。

項目	関連する教育目標	評 価 項 目
1	Е	課題の問題と背景を理解し、それを解決する方法を導き適切に実施する ことにより、課題を解決している。
2	F – 1	ゼミや中間報告の資料が、背景・目的・結果・考察等、一貫性のある内容を有し、まとめられ、理解しやすいように作成されている。
3		卒業論文発表会での学科教員による評価の平均点を用いる。
4	G	後期を通じて、卒業研究に対して自ら積極的に学び、取り組んでいる。
5	Н	自ら研究・調査を計画・実行し、卒業論文を自分の力でとりまとめて作成している。

## 環境土木工学総合演習Ⅰ・Ⅱの単位修得について

環境建設工学総合演習は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学総合演習の単位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	各科目に関する応用的な問題・課題を解くことができる。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。

## 環境土木工学実験の単位修得について

環境建設工学実験は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学実験の単位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	構造工学、水理学、地盤工学、材料・コンクリート工学、環境工学に関して実験 を通じて専門知識を習得するとともに、習得した専門知識を応用・展開する能力 を身につける。
E	実験結果について、分析評価し、解決することにより、デザイン能力の基礎を身につける。
F - 1	実験レポートの作成により、物事を説明するための文章能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。
Н	実験を通して、計画立案、遂行、とりまとめまでを自ら行うことのできる能力を 身につける。

## 土木工学設計製図の単位修得について

環境建設工学設計製図は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学設計製図の単位修得のために は以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	環境建設工学に関して製図を通じて専門知識を習得するとともに、習得した専門 知識を応用・展開する能力を身につける。
E	課題に関する設計について、成果を自ら分析評価しながら適切な構造物を設計する能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。

## フレッシュパーソンセミナーの単位修得について

フレッシュパーソンセミナーは、以下の教育目標に対応する科目です。フレッシュパーソンセミナーの単 位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
A	地球環境問題や建設技術に関するビデオを視聴し、地域特性を理解する。
В	技術者としての倫理を学ぶ
F – 1	レポート、発表や、教員とのコミュニケーションから日本語を使う能力を身につ ける。

## 環境建設工学概論の単位修得について

研究・発表の技法は、以下の教育目標に対応する科目です。研究・発表の技法の単位修得のためには、以 下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
E	実験、演習を通して、レポートにとりまとめることのできる能力を身につける。
F - 1	指定図書に関する発表・質疑応答を通じてコミュニケーション能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。
Н	実験、演習を通して、レポートに取りまとめることのできる能力を身につける。

## 環境建設工学科課程表 (2023年度入学生適用)

※開講学年前期後期欄

空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

										開講	学年				工作的	卅				記修安垻を参照。
						1年			2年			3年			4年		教職	建築士	必修	備考
				開		1		$\vdash$							1 1				- 必修	KI. FI
	3	分	科 目 名	講期	盐	丝	畄	品	丝	出	岀	丝	畄	品	丝	出				ドロ 必修科目
				州	前期	後期	単位	前期	期	単位	開	後期	位	前期	期	単位				教職関連科目 (選択、必修)
																	1			士試験の指定科目
$\vdash$			聖書を学ぶ	半期			2												0	T T
				-			-												0	□ ◇環境建設工学科を卒業し、学士号を得るため には124単位以上を修得しなければならない。
			キリスト教の歴史と思想	半期			2						0						\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	には124千世外工を移位なりがはなりない。
			キリスト教学A (キリスト教と倫理)	半期									2						-	
		١,	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	半期	_				_				2							2単位選択必修。4単位まで卒業
		間	キリスト教学C(キリスト教と文化)	半期									2						1	単位に算入することができる。
		的世	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	半期									2						J	
	T	基礎	共生社会と倫理	半期				0	0	2									}	2単位選択必修
	1	"	科学技術社会と倫理	半期				0	0	2									) =	2年世選/代紀/修
	G		よき社会生活のためにA(法律)	半期	$\circ$	0	2												)	
	ベ		よき社会生活のためにB(福祉)	半期	0	0	2													2単位選択必修
			よき社会生活のためにC(健康)	半期	0	0	2												]	
			リーディング&ライティング	半期	0	0	2				Ì								) ~	o W W all to W W
	シ	知	クリティカル・シンキング	半期	Ō	Ō	2										İ		<b> </b> }	2単位選択必修
	ッ	的	情報リテラシー	半期	0	Ť	2	$\vdash$									◆必		0	
		的基礎	統計的思考の基礎	半期		0	2	$\vdash$									\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		1	
	ク	P/L	科学的思考の基礎	半期	0	0	2	$\vdash$	-								-		-	2単位選択必修
		_	キャリア形成の探究	半期	-	_	_	├											)	
					0	0	2	⊢	-								-		-	
		課	東北学院史の探究	半期						_	0	0	2						-	
		課題	データ活用による探究	半期	_			0	0	2									10	6単位選択必修
		探究	地域ボランティア活動の探究	半期	0	0	2												. I	
-tz-l		"	地域課題の探究	半期				0	0	2									]	
教			課題探究演習	半期		0	2												)	
養			哲学	半期	$\circ$	0	2												)	
教			芸術論	半期	0	0	2													
			文化の歴史	半期	0	0	2												1	
育		人	音楽	半期	0	0	2												1	
科		文	倫理学	半期	0	0	2												1	4単位選択必修
		-	文学	半期	Ō	0	2												11 0	
目		系	歴史学	半期	0	0	2												1	
			文化人類学	半期	-	0	2	$\vdash$											$\{ \}$	
				半期	0	_	2												-	
		_	言語論		0	0	_	⊢	-								-		,	
	   共		心理学	半期	0	0	2	_											-	
			社会学	半期	0	0	2												-	
	通		経営学	半期	0	0	2												1	
	教	- <del>)</del> 1.	経済学	半期	0	0	2												1	
		社	法学	半期	$\circ$	0	2				L						L		]	
	養	会	日本国憲法	半期	$\circ$	0	2				$L^{-}$						◆必			4単位選択必修
	科	系	現代の政治	半期	0	0	2													
	目		地理学	半期	0	0	2												1	
			社会福祉論	半期	0	0	2												11	
			ジェンダー論	半期	0	0	2												1	
			東北地域論	半期	0	0	2												1)	
		$\vdash$	数理の科学	半期	0	0	2	$\vdash$											)	
			記号論理学	半期	0	0	2	$\vdash$	-										1	
		自			-	_	-	$\vdash$			-						-		$\parallel$	
			生命の科学	半期	0	0	2	-	-								-		_	4 보스 (무 얼마나 이 나)
		然	環境の科学	半期	0	0	2	_	-		_									4単位選択必修
		系	自然の科学	半期	0	0	2	_											-	
			先端科学と技術	半期	0	0	2												1	
Ш			AI 社会の基礎	半期	0	0	2										<u> </u>		J	
外			英語IA	半期			1												0	
国		第 1	英語 I B	半期			1												0	
外国語科目		1 須	英語ⅡA	半期						1									0	
		-	英語ⅡB	半期						1									0	
ш			**	•					, -											1

	,			1					盟藩	学年	<del></del>		( )	空懶	一用	1				修要項を参照。	
					1年			2年			3年			4年		教職	建築士	必	修	備考	
×	分	科 目 名	開講期				前期	Ė					前期			} (	◆印-	選打工	択业 業孝	<sup>斗目</sup> 必修科目 <b>公</b> 職関連科目(選択、必修) 上試験の指定科目	
		ドイツ語 I A	半期	•		2	Т												)		
		フランス語 I A	半期	•		2															
		中国語 I A	半期	•		2															
		韓国・朝鮮語 I A	半期	•		2														週2回開講科目	
		ドイツ語 I B	半期		•	2														※Bの選択にあたってはAと同一の外国語を履修すること	
		フランス語 I B	半期		•	2														V//下四日で を 腹 10 り る こ こ	
		中国語 I B	半期		•	2															
		韓国・朝鮮語 I B	半期		•	2													)		
		ドイツ語Ⅱ A	半期						1												
		フランス語Ⅱ A	半期				•		1												
		中国語II A	半期				•		1												
		韓国·朝鮮語ⅡA	半期				•		1												
		ドイツ語コミュニケーションA	半期				•		1												
		フランス語コミュニケーションA					•		1												
		中国語コミュニケーションA					•		1												
	第	韓国・朝鮮語コミュニケーションA	半期				•		1												
	第 2 類	ドイツ語ⅡB	半期				Ť	•	1												
	/20	フランス語ⅡB	半期					•	1												
外图		中国語IIB	半期					•	1												
語		韓国・朝鮮語ⅡB	半期					•	1												
外国語科目		ドイツ語コミュニケーションB	半期					•	1												
		フランス語コミュニケーションB	半期					•	1												
		中国語コミュニケーションB	半期					•	1												
		韓国・朝鮮語コミュニケーションB	半期					•	1												
		ドイツ語ⅢA	半期							•		1									
		フランス語Ⅲ A	半期							•		1									
		中国語ⅢA	半期							•		1									
		韓国·朝鮮語ⅢA	半期							•		1									
		ドイツ語ⅢB	半期							1	•	1									
		フランス語ⅢB	半期								•	1									
		中国語ⅢB	半期								•	1									
		韓国·朝鮮語ⅢB	半期								•	1									
	第 3	ベーシック英語	半期	•		1														「ベーシック英語」履修を指示された 者は、「ベーシック英語」履修後に 1年後期開講の〈英語 I A   を履修 すること。ただし、「ベーシック英語」 は進級・卒業単位に含まれない。	
	類	英語コミュニケーション	半期	0	0	2										◆必				週2回開講	
		英語ⅢA	半期							•		1									
		英語ⅢB	半期									1									
,	± 4	スポーツ実技A	半期	0	0	1										•					
保1  科	建体育 目	スポーツ実技B	半期	0	0	1										•					
		体育講義	半期	0	0	2										<b>♦</b>					
		海外研究A	通年						4												
留	学科目	海外研究B	半期			2													4単位まで卒業単位に算入		
		海外研究C	半期			1															
		日本語 I A	半期	•		1															
外国	人及び	日本語 I B	半期		•	1															
帰国	国生科目	日本語ⅡA	半期				•		1												
L		日本語ⅡB	半期						1												
—				•																	

					Ι					開講	学年			( :	工(制)	一用				『修要項を参照。 
						1年			2年		_	- 3年			4年		教職	建築士	必修	備考
_	,	n	<b>⊅</b> 1 □ ₩	開				$\vdash$	<del>- '</del>						- 1		(	)们—	必修和	· 斗目
	3 5	<b>介</b>	科 目 名	講期	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	} (	●印- ◆印-	選択	・1 必修科目 牧職関連科目(選択、必修) 壮試験の指定科目
			ベーシック数学	半期	•		2													「ベーシック数学」「ベーシック物理
			ベーシック物理学	半期	•		2													学」は進級・卒業単位に含まない。
			物理学 I	半期			2												0	
			物理学Ⅱ	半期						2										
			化学	半期	•		2													
			微分積分学I	半期			2												0	
	学		微分積分学Ⅱ	半期			2													
	部		線形代数学	半期			2												0	
			微分方程式	半期						2										
	共		確率統計学	半期				•		2										
	通		自然科学実験ファンダメンタルズ	半期			2													
	専		AI 活用の基礎	半期							•		2							
	門			半期							•		2							
	科		情報セキュリティ技術の基礎	半期					•	2										
			技術者倫理	半期									2					*	0	
	目		知的所有権	半期									2							
			フレッシュパーソンセミナー	半期			2												0	
			ジュニアセミナー	半期									2						0	
			卒業研究 I	半期												3			0	
			卒業研究Ⅱ	半期											•	3			0	
			学外見学	半期					•	1										
			インターンシップ	半期									1							
			環境建設基礎数学演習	半期	•		1												0	
			測量学 I	半期	•		2												0	
			環境建設工学概論	半期			2												0	
			力学および演習	半期		•	3										•		0	週2回開講
			プログラミング基礎	半期				•		2									0	
			構造力学Iおよび演習	半期				•		3							•		0	週2回開講
		必	水理学 I	半期				•		2							•		0	
	環	修	環境工学	半期					-	2							•		0	
	境	科	地盤力学 I	半期					•	2							•		0	
	土		コンクリート工学	半期					•	2							•		0	
学			構造力学Ⅱ	半期						2	-						<b>•</b>		0	
科	木		地盤力学Ⅱ	半期					_		•		2				<b>♦</b>		0	
	コ		鉄筋コンクリート工学	半期				_					2				•		0	
専	1		環境上大工学総合演習Ⅰ	半期									1						0	
門	ス		環境土木工学総合演習Ⅱ	半期									1				<u> </u>		0	
科			環境土木工学実験	半期					-				2				<b>*</b>		0	
目	専		土木工学設計製図	半期				_	-				2				•		0	
	門		測量学Ⅱ	半期			2		-	0										
	科		測量実習製図	半期				•		2							<b>A</b>			
	I	専	水理学Ⅱ	半期						2							•			
		門基	土土焦却党	半期						2	_									
		礎	土木情報学	半期						2	_									
		基盤	都市計画	半期						2			0							
		盤科	上下水道工学	半期							•		2							
		目	キャリアデザイン	半期					-		•		2							
			交通工学 CAD海羽	半期									2							
			CAD演習 地震工学で	半期									1				<b>A</b>			
			地震工学 I	半期									2				•			

※開講学年前期後期欄

( ●-原則としてその学期で開講。

○○一原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。 | 空欄ー開講期はシラバス・履修要項を参照。

										開講	学年			( -	工作的	一用				援修要項を参照。 
						1年			2年			3年			4年		教職	建築士	必修	備考
Þ	S 5	<b>जे</b>	科 目 名	開講期	前期	後期		前期					単位				} (	<b>▶</b> 钔-	選択	       日   と修科目     数職関連科目(選択、必修)     士試験の指定科目
		環	環境の化学	半期					•	2							•			
	理	境	構造力学Ⅲ	半期							•		2							
	環境土木	· 社	鋼構造工学	半期									2				•			
	土	会基	応用水理学	半期									2							
	コ 1	盤	コンクリートメインテナンス工学	半期									2				•			
	ス	工学科	河川港湾工学	半期									2							
	専門		環境生物工学	半期									2							
	科目	目	地震工学Ⅱ	半期												2				
	Н	専門関連科目	i-construction	半期									2							
		霜目	施工法および施工管理	半期												2				
		建	建築設計製図 I	半期				•		2							<b>♦</b>	*	0	
		築設	建築設計製図Ⅱ	半期					•	3								*	0	
		計製	建築設計製図Ⅲ	半期							•		2					*	0	
		図	建築設計製図IV	半期				_				•	3					*		
			建築計画 I	半期				•		2							•	*	0	
		建	建築計画Ⅱ	半期					•	2								*	0	
		建築計	建築計画Ⅲ	半期							•		2					*		
		計画	住居計画	半期					•	2								*		
			西洋・近代建築史	半期							•		2					*		
		7.0	日本建築史	半期				<u> </u>					2					*		
,,,		建築環境工学	建築環境工学	半期				•		2	_						•	*	0	
学		-	建築環境計画	半期				_	_		•		2				<u> </u>	*		
科		建築設備	建築設備	半期					•	2							•	*	0	
専		備	建築設備計画	半期		_	_	<u> </u>					2					*		No. 2 - 100 - 10
門	建		力学および演習	半期			3										•	*	0	週2回開講
科	築	構造	構造力学Ⅰおよび演習	半期				•		3							•	*		週2回開講
	コ	造力学	構造力学Ⅱ	半期				_		2							•	*		
目	ו	子	建築構造力学	半期								•	2					*	0	
	- -	Z-B-	地震工学Ⅰ	半期						0			2					*		
	ス	建築一	建築構法	半期						2			0				•	*	0	
	専	桃	鉄筋コンクリート工学	半期							•		2				•	*		
	門	造建	鋼構造工学 7井第井料 党	半期半期						0			2				•	*		
	科	築材料	建築材料学 コンクリート工学	半期				•		2							×	*		
	目	建築	生産管理	半期				$\vdash$			•		2	$\vdash$			_	*		
		築生産	施工法および施工管理	半期												2		*		
		建築法規	建築法規	半期								•	2				•	*	0	
		規	測量学 I	半期	•		2											*	0	
			測量学Ⅱ	半期		•	2											*		
			環境建設基礎数学演習	半期	•		1												0	
		建	環境建設工学概論	半期		•	2												0	
		築	建築デザイン演習	半期					•	1								*	0	
		関	プログラミング基礎	半期				•		2										
			測量実習製図	半期				•		2								*		
		連	都市計画	半期					•	2								*		
			交通工学	半期							•		2							
			CAD 演習	半期							•		1					*		
			キャリアデザイン	半期									2							

※開講学年前期後期欄 ※開講学年前期後期欄 ○○一原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。 空欄一開講期はシラバス・履修要項を参照。

												(:	空欄·	一開	講期は	ンフハ	ス・層	<b>髪修要項を参照。</b>
								開講	学年						<b>粉</b> 職	建築士	心、修	備考
				1年			2年			3年			4年		子人们	建木工	无小沙	рін <sup>2</sup> -
区分	科 目 名	開講期	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	} (	▶印-	選択	科目 必修科目 教職関連科目(選択、必修) 士試験の指定科目
教育職員免許	工業技術概論	半期												2	◆必			
状の教科に関		半期												2	◆必			
する科目	職業指導Ⅱ	半期											•	2	◆必			
	現代教職論	半期			2										◆必			
	教育基礎論	半期			2										◆必			
	教育の制度と経営	半期		•	2										◆必			
	教育心理学	半期						2							◆必			
+/-	教育課程論	半期				•		2							◆必			
教職等に関する科目	ICT 活用の理論と方法	半期									2				◆必			
等に	教育の方法と技術	半期						2							◆必			
関	教育相談の理論と方法	半期						2							◆必			
する	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2							◆必			
科目	工業科教育法(概論・理論)	半期							•		2				◆必			
	工業科教育法(実践・応用)	半期									2				◆必			
	特別支援教育論	半期									2				◆必			
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2				◆必			
	教育実習 I	通年												3	◆必			
	教職実践演習 (中・高)	半期											•	2	◆必			

### ◆卒業要件(卒業に必要な最低修得単位数)

環境土木コース

	区	分	単位	立数							
		人間的基礎	10								
	TG ベーシック	知的基礎	6								
教養教育科目		課題探究	6	24							
教食教育科目		人文系	4	34							
	共通教養科目	社会系	4								
		自然系	4								
外国語科目	第1類		4	4							
学部共通専門和	斗目		2	4							
	adres I I a I	必修科目	33								
学科専門科目	環境土木コース  専門科日	専門基礎・基盤科目	8	47							
	41 111 🖂	環境・社会基盤工学科目	6								
	学科専門科目										
学科専門科目     教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、留学科目(4単位まで)、学部共通専門科目、他学部・他学科開講専門教育科目、環境建設工学科他コース科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計8単位まで)											
	合 訁	t	12	24							

#### 建築コース

	区	分	単位	立数						
		人間的基礎	10							
	TG ベーシック	知的基礎	6							
   教養教育科目		課題探究	6	34						
教食教育符日		人文系	4	34						
	共通教養科目	社会系	4							
		自然系	4							
外国語科目	第1類		4	4						
学部共通専門和	斗目		2	24						
		建築設計製図	7							
		建築計画	8							
		建築環境工学	2							
		建築設備	2							
   学科専門科目	建築コース	構造力学	7	46						
子件等门件目	専門科目	建築一般構造	4	40						
		建築材料	2							
		建築生産	2							
		建築法規	2							
		建築関連	10							
	学科専門科目									
表養教育科目、外国語科目、保健体育科目、留学科目 (4単位まで)、学部共通専門科目、他学部・他学科開講専門教育科目、環境建設工学科他コース科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計8単位まで)										
	合 言	†	12	24						

### ◆進級要件(4年次進級に必要な最低修得単位数)

環境土木コース

区 分	単位数
教養教育科目	30
外国語科目 第1類	30
学部共通専門科目 (ジュニアセミナーを含むこと)	14
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと) 1 環境土木工学実験 2 土木工学設計製図	50
進級単位	94

#### 建築コース

区 分	単位数
教養教育科目	30
外国語科目 第1類	30
学部共通専門科目 (ジュニアセミナーを含むこと)	14
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと) 1 建築設計製図 I 2 建築設計製図 I 3 建築設計製図Ⅲ	50
進級単位	94

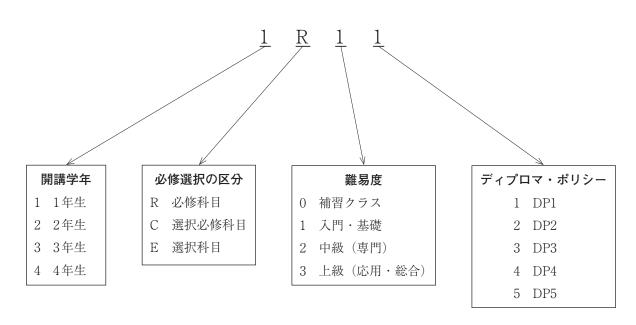
#### 〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が、全学共通の5つの学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー: DP)のうちどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている②は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、〇は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。なお、DP 5の細項目は、各学科の専門科目の学修によって達成を目指している方針・目標となります。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・ 目標をもっているかを理解し、履修の順序についてもしっかりと計画を立てておくことが大切です。

#### 〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。 右端の「ディプロマ・ポリシー」とは、その科目が最も達成しようとしている方針(DP)がどれかを示しています。



#### (1) 工学部 環境建設工学科 カリキュラムマップ (学位授与の方針との対応)

	4		全学共通の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)			
		1	2	3	4	5
ナンバリング	科目名	現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで カを活用できる(汎 きる (現規発見・ 生きる) (課題発見・ 解決のために学 様な視点か 修成果を活用して し、異なる 力を活用できる(汎 取り組むことがで 思考方法や がはできる (課題発見・ ができる ( 解決)		ものごとを広く多 様な視点から認識	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる(専門分野	
1R11	聖書を学ぶ	0				
1R11	キリスト教の歴史と思想	0				
3C21	キリスト教学 A(キリスト教と倫理)	0				
3C21	キリスト教学 B(キリスト教と宗教)	0				
3C21	キリスト教学 C (キリスト教と文化)	0				
3C21	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	0				
2C11	共生社会と倫理	0			0	
2C11	科学技術社会と倫理	0			0	
1C11	よき社会生活のために A(法律)	0			0	
1C11	よき社会生活のために B (福祉)	0			0	
1C11	よき社会生活のために C(健康)	0			0	
1C12 1C12	リーディング&ライティング クリティカル・シンキング		0			
1R12	ケッティカル・シンキンケ   情報リテラシー	+	0		0	
1C12	統計的思考の基礎		0		0	
1C12	科学的思考の基礎		0		0	
1C13	キャリア形成の探究	0		0	<u> </u>	
3C13	東北学院史の探究	0		0		
2C23	データ活用による探究		0	0		
1C13	地域ボランティア活動の探究	0		0		
2C23	地域課題の探究		0	0	0	
1C23	課題探究演習		0	0		
1E14	哲学				0	
1E14	芸術論	0			0	
1E14	文化の歴史				0	
1E14	音楽	0			0	
1E14	倫理学				0	
1E14	文学				0	
1E14	歴史学	0			0	
1E14	文化人類学	0			0	
1E14	言語論				0	
1E14	心理学				0	
1E14 1E14	社会学				0	
1E14	経営学   経済学				0	
1E14	法学				0	
1E14	日本国憲法	0			0	
1E14	現代の政治	0			0	
1E14	地理学				0	
1E14	社会福祉論				0	
1E14	ジェンダー論				0	
1E14	東北地域論				0	
1E14	数理の科学				0	
1E14	記号論理学		0		0	
1E14	生命の科学				0	
1E14	環境の科学	1			0	
1E14	自然の科学				0	
1E14	先端科学と技術	-			0	
1E14	AI 社会の基礎	1	0		0	
1R12 1R12	英語IA	<del> </del>	0		0	
2R22	英語IB		0		_	
2R22 2R22	英語 I A 英語 I B	+	0		0	
1C12	大品 I B   F イツ語 I A	+	0		0	
1C12	フランス語IA		0		0	
1C12	中国語IA		0		0	
1C12	韓国・朝鮮語IA		0		0	
		1				

			 全学共通の学位授	 与の方針(ディ <sup>-</sup>	プロマ・ポリシー	)
		1	2	3	4	5
ナンバリング	科目名	現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる(汎	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して		専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる(専門分野
1C12	ドイツ語 I B		0		0	
1C12	フランス語 I B		0		0	
1C12	中国語IB		0		0	
1C12	韓国・朝鮮語 I B		0		0	
2E22	ドイツ語 II A		0		0	
2E22	フランス語 II A		0		0	
2E22	中国語 I A		0		0	
2E22	韓国・朝鮮語ⅡA		0		0	
2E22	ドイツ語コミュニケーション A		0		0	
2E22	フランス語コミュニケーション A		0		0	
2E22	中国語コミュニケーション A		0		0	
2E22 2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション A  ドイツ語 Ⅱ B		0		0	
2E22 2E22	トイク語』B  フランス語』B	-	0		0	
2E22	クランヘ語エロ   中国語II B	-	0		0	
2E22	中国前 II B		0		0	
2E22	ドイツ語コミュニケーション B		0		0	
2E22	フランス語コミュニケーション B		0		0	
2E22	中国語コミュニケーション B		0		0	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション B		0		0	
3E32	ドイツ語Ⅲ A		0		0	
3E32	フランス語Ⅲ A		0		0	
3E32	中国語II A		0		0	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ A		0		0	
3E32	ドイツ語Ⅲ B		0		0	
3E32	フランス語Ⅲ B		0		0	
3E32	中国語Ⅲ B		0		0	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ B		0		0	
1E02	ベーシック英語		0		0	
1E12	英語コミュニケーション		0		0	
3E32	英語 II A		0		0	
3E32	英語 II B		0		0	
1E11 1E11	スポーツ実技 A   スポーツ実技 B	0				
1E12	体育講義		0			
2E32	海外研究 A		0		0	
1E22	海外研究 B		0		0	
1E12	海外研究 C		0		0	
1E12	日本語IA		0			
1E12	日本語IB		0			
2E12	日本語IA		0			
2E12	日本語IB		0			
1E02	ベーシック数学		0			0
1E02	ベーシック物理		0			0
1R25	物理学Ⅰ					0
2E35	物理学Ⅱ					0
1E12	化学		0			0
1R25	微分積分学 I					0
1E35 1R25	微分積分学 I					0
2E25	微分方程式	-				0
2E25 2E25	確率統計学					0
1E13	唯学机引子   自然科学実験ファンダメンタルズ			0		0
3E35	AI活用の基礎					0
3E35	データサイエンス活用の基礎					0
2E35	情報セキュリティ技術の基礎					0
3R13	技術者倫理			0	0	0
		ı				

	T	1 .	 全学共通の学位授	きょう 七分 (ディー	プロフィギリシー	)
		1	2	3	4	5
ナンバリング	科目名	現代をよく生きることになった。 ことについては、キリスト教の教察が表えた考察 いまる(現代をよく 生きる)	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して	ものごとを広く多	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる(専門分野
3E15	知的所有権					0
1R15	フレッシュパーソンセミナー					0
3R23	ジュニアセミナー			0		0
4R33	卒業研究 I	0		0		0
4R33	卒業研究Ⅱ	0		0	_	0
2E24	学外見学			0	0	0
3E34	インターンシップ	<u> </u>		0	0	0
1R15	環境建設基礎数学演習					0
1R25	測量学 I					0
1R12	環境建設工学概論		0			© ©
1R25 2R25	カ学および演習					0
2R25 2R25	プログラミング基礎   構造力学 I および演習	+				0
2R25	株垣ガチェあるの演画    水理学 [	+				0
2R25	環境工学	1				0
2R25	地盤力学Ⅰ	1				0
2R25	コンクリート工学					0
2R25	構造力学 II					0
3R25	地盤力学Ⅱ					0
3R25	鉄筋コンクリート工学					0
3R25	環境土木工学総合演習 I					0
3R25	環境土木工学総合演習 Ⅱ					0
3R25	環境土木工学実験					0
3R25	土木工学設計製図					0
1E25	測量学Ⅱ					0
2E25	測量実習製図					0
2E25	水理学Ⅱ					0
2E25	土木計画					0
2E25	土木情報学					0
2E25	都市計画					0
3E25	上下水道工学 キャリアデザイン					0
3E25 3E25						0
3E25	│交通工学 │CAD演習					0
3E25	地震工学Ⅰ	+				0
2E35	環境の化学					0
3E35	構造力学Ⅲ	1				0
3E35	鋼構造工学					0
3E35	応用水理学					0
3E35	コンクリートメインテナンス工学					0
3E35	河川港湾工学					0
3E35	環境生物工学					0
4E35	地震工学Ⅱ					0
3E35	i-construction					0
4E35	施工法および施工管理					0
2R15	建築設計製図 I			0	0	0
2R25	建築設計製図Ⅱ			0	0	0
3R25	建築設計製図Ⅲ → 本部計制図N7	+		0	0	0
3E35	建築設計製図Ⅳ   建築計画 T	+		0	_	0
2R15 2R25	建築計画 I	+		0	0	0
3E35	建柴計画 Ⅲ   建築計画 Ⅲ	+		0	0	0
2E24	│ 建采訂回Ⅲ │ 住居計画	+			0	0
3E24	西洋・近代建築史	+			0	0
3E24	日本建築史	1			0	0
2R25	建築環境工学	1			Ü	0
3E35	建築環境計画	1				0
			1	I.	l.	_

			 全学共通の学位授	<b>与の方針(ディ</b> フ	プロマ・ポリシー	)
		1	2	3	4	5
ナンバリング	科目名	現代をよく生きるようによくないの教育では、よくないの教育では、 はいい教育をよるでは、 はいいまえた考察がく きる (現代をよく)	必要な汎用的諸技 能・能力及び英語	の解決のために学 修成果を活用して	も様とをから認識・思考所属を (多い) となって、 (本の) では、 (本	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる (専門分野 の学修)
2R25	建築設備					0
3E35	建築設備計画					0
1R25	力学および演習					0
2E25	構造力学 I および演習					0
2E25	構造力学Ⅱ					0
3R25	建築構造力学					0
3E25	地震工学 I					0
2R25	建築構法					0
3E25	鉄筋コンクリート工学					0
3E35	鋼構造工学					0
2R25	建築材料学					0
2E25	コンクリート工学					0
3E25	生産管理					0
4E35	施工法および施工管理					0
3R25	建築法規				0	0
1R25	測量学 I					0
1E25	測量学Ⅱ					0
1R15	環境建設基礎数学演習					0
1R12	環境建設工学概論		0			0
2R25	建築デザイン演習				0	0
2E25	プログラミング基礎					0
2E25	測量実習製図					0
2E25	都市計画				0	0
3E25	交通工学					0
3E25	CAD 演習					0
3E25	キャリアデザイン				0	0
4R25	工業技術概論					0
4R25	職業指導Ⅰ					0
4R25	職業指導Ⅱ					0
1R14	現代教職論				0	
1R14	教育基礎論				0	
1R24	教育の制度と経営				0	
2R24	教育心理学				0	
2R24	教育課程論				0	
3R24	ICT 活用の理論と方法				0	
2R24	教育の方法と技術				0	
2R24	教育相談の理論と方法				0	
2R24	生徒指導・進路指導の理論と方法				0	
3R35	工業科教育法(概論・理論)					0
3R35	工業科教育法(実践・応用)					0
3R34	特別支援教育論				0	
3R34	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法				0	
4R33	教育実習Ⅰ			0		
4R33	教職実践演習(中・高)			0		

#### (2) 工学部 環境建設工学科 カリキュラムマップ (専門分野の学修成果との対応)

				 指す学修成果	
		1	2	3	4
ナンバリング	専門科目	学、建築学の専門 知識に基づいて、 社会が要求する問 題について工学的	関する情報を自ら 積極的に入手する ことができる。(エ	て、専門分野の基 礎知識を活用して 自主的な学修を進 めるとともに、研	の倫理の重要性について説明する。 とができる。(エ
1E02	ベーシック数学		0		
1E02	ベーシック物理		0		
1R25	物理学 I		0		
2E35	物理学Ⅱ		0		
1E12	化学		0		
1R25	微分積分学 I		0		
1E35	微分積分学Ⅱ		0		
1R25	線形代数学		0		
2E25	微分方程式		0		
2E25	確率統計学		0		
1E13	自然科学実験ファンダメンタルズ	0	0		
3E35	AI 活用の基礎		0		
3E35	データサイエンス活用の基礎		0		
2E35	情報セキュリティ技術の基礎   技術者倫理		0		0
3R13 3E15	知的所有権		0		0
1R15	フレッシュパーソンセミナー	©	0		0
3R23	ジュニアセミナー	0		0	0
4R33	卒業研究Ⅰ			0	
4R33	卒業研究Ⅱ	0		0	
2E24	学外見学	0			
3E34	インターンシップ	0			
1R15	環境建設基礎数学演習	0			
1R25	測量学 I	0			
1R12	環境建設工学概論	0			
1R25	力学および演習	0			
2R25	プログラミング基礎	0	0		
2R25	構造力学Iおよび演習	0			
2R25	水理学 I	0			
2R25	環境工学	0			
2R25	地盤力学 I	0			
2R25	コンクリート工学	0			
2R25	構造力学Ⅱ	0			
3R25	地盤力学Ⅱ	0			
3R25	鉄筋コンクリート工学	0			
3R25	環境土木工学総合演習Ⅰ	0		0	
3R25 3R25	環境土木工学総合演習Ⅱ	0		0	
3R25 3R25	環境土木工学実験 土木工学設計製図	0	0		
1E25	工术工学設計製図				
2E25	測量実習製図	0			
2E25	水理学Ⅱ	0			
2E25	土木計画	0			
2E25	土木情報学	0			
2E25	都市計画	0			
3E25	上下水道工学	0			
3E25	キャリアデザイン	0			0
3E25	交通工学	0			
3E25	CAD演習	0	0		
3E25	地震工学 I	0			
2E35	環境の化学	0			
3E35	構造力学Ⅲ	0			
3E35	鋼構造工学	0			
3E35	応用水理学	0			
3E35	コンクリートメインテナンス工学	0			

			専門科目が目	 指す学修成果	
		1	2	3	4
ナンバリング	専門科目	学、建築学の専門 知識に基づいて、 社会が要求する問 題について工学的	工学系の幅広い分野の事象に関連、 野の事、科学技術自らる情報を自ちる情報を自ちるでは、 関連をができる。(エ 学系情報の入手)	礎知識を活用して	の倫理の重要性に ついて説明するこ とができる。(工学
3E35	河川港湾工学	0			
3E35	環境生物工学	0			
4E35	地震工学Ⅱ	0			
3E35	i-construction	0	0		
4E35	施工法および施工管理	0			
2R15	建築設計製図 I	0			
2R25	建築設計製図Ⅱ	0			
3R25	建築設計製図Ⅲ	0			
3E35	建築設計製図N	0			
2R15	建築計画 I	0			
2R25	建築計画Ⅱ	0			
3E35	建築計画Ⅲ	0			
2E24	住居計画	0			
3E24	西洋・近代建築史	0			
3E24	日本建築史	0			
2R25	建築環境工学	0	0		
3E35	建築環境計画	0	0		
2R25	建築設備	0	0		
3E35	建築設備計画	0	0		
1R25	力学および演習	0			
2E25	構造力学Iおよび演習	0			
2E25	構造力学Ⅱ	0			
3R25	建築構造力学	0			
3E25	地震工学 I	0			
2R25	建築構法	0			
3E25	鉄筋コンクリート工学	0			
3E35	鋼構造工学	0			
2R25	建築材料学	0			
2E25	コンクリート工学	0			
3E25	生産管理	0			
4E35	施工法および施工管理	0			
3R25	建築法規	0			0
1R25	測量学 I	0			
1E25	測量学Ⅱ	0			
1R15	環境建設基礎数学演習	0			
1R12	環境建設工学概論	0			
2R25	建築デザイン演習	0			
2E25	プログラミング基礎	0	0		
2E25	測量実習製図	0			
2E25	都市計画	0			
3E25	交通工学	0			
3E25	CAD 演習	0	0		
3E25	キャリアデザイン	0	-		0

# 【環境建設工学科の学習・教育到達目標と達成度】

学習・教育到達目標達成度チェック表 (2017 (平成 29) 年度入学生より)

項	B	学習・教育目標	科目数	達成科 目数
	A	地球環境問題などに対する多面的視点を持ちつつ、東北という地域特性を 理解した環境建設技術者としての視点を身につける[多面的視点を持つ技 術者]	12	6
	В	キリスト教を通して社会人としての良識と一般教養を着実に身につけるとともに、技術者としての倫理観を備え、科学技術と自然・社会との関わりを考えて行動できる素養を身につける[社会人としての良識と技術者倫理]	9	5
	C - 1	数学、自然科学と工学基礎に関する知識や学力を修得し、それを問題解決 に活用できる応用力を身につける [数学、科学技術の知識と応用能力]	14	8
С	C - 2	情報技術に関する基本的な知識とスキルを修得し、実社会で活用できる能力を身につける[情報技術のスキルと応用能力]	4	2
	D	環境建設工学における基礎的な専門知識と学力を修得し、中核となる技術者として応用・展開できる能力を身につける[専門科目の基礎学力と応用能力]	18	15
	E	社会の要求を解決するために科学技術に関する情報を積極的に入手し、課題に対する計画、遂行、分析・評価、改善のサイクルを通じて、問題解決のための能力を身につける[問題解決のためのデザイン能力]	6	6
E	F - 1	技術的・社会的に十分通用する日本語を使える能力を身につける [日本語表現能力]	6	5
F	F - 2	英語によるコミュニケーション基礎能力を修得する [国際コミュニケーション基礎能力]	6	4
	G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事 さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得 に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。	8	8
	Н	卒業研修・実験・演習・実習などを通じて、計画立案、遂行、とりまとめ までを自ら行うことのできる能力を身につける [立案能力と総括能力]	4	4

各教育目標に対応する科目については、別に配布する「達成度の自己点検表」を見てください。

## 卒業研究 I の単位修得について

卒業研究」は以下の教育目標に対応する科目です。卒業研究」の単位修得に関する評価項目は以下の通りです。

項目	関連する教育目標	評 価 項 目
1	Е	課題の問題と背景を理解し、それを解決する方法を導き適切に実施する ことにより、課題を解決している。
2	F – 1	ゼミや中間報告の資料が、背景・目的・結果・考察等、一貫性のある内容を有し、まとめられ、理解しやすいように作成されている。
3	G	前期を通じて、卒業研究に対して自ら積極的に学び、取り組んでいる。
4	Н	自ら研究・調査を計画・実行し、ゼミの資料や中間報告の資料を自分の 力でとりまとめて作成している。

## 卒業研究Ⅱの単位修得について

卒業研究Ⅱは以下の教育目標に対応する科目です。卒業研究Ⅱの単位修得に関する評価項目は以下の通りです。

項目	関連する教育目標	評 価 項 目
1	Е	課題の問題と背景を理解し、それを解決する方法を導き適切に実施する ことにより、課題を解決している。
2	F – 1	ゼミや中間報告の資料が、背景・目的・結果・考察等、一貫性のある内容を有し、まとめられ、理解しやすいように作成されている。
3		卒業論文発表会での学科教員による評価の平均点を用いる。
4	G	後期を通じて、卒業研究に対して自ら積極的に学び、取り組んでいる。
5	Н	自ら研究・調査を計画・実行し、卒業論文を自分の力でとりまとめて作成している。

## 環境建設工学総合演習の単位修得について

環境建設工学総合演習は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学総合演習の単位修得のため には以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	各科目に関する応用的な問題・課題を解くことができる。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。

## 環境建設工学実験の単位修得について

環境建設工学実験は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学実験の単位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	構造工学、水理学、地盤工学、材料・コンクリート工学、環境工学に関して実験 を通じて専門知識を習得するとともに、習得した専門知識を応用・展開する能力 を身につける。
E	実験結果について、分析評価し、解決することにより、デザイン能力の基礎を身につける。
F - 1	実験レポートの作成により、物事を説明するための文章能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。
Н	実験を通して、計画立案、遂行、とりまとめまでを自ら行うことのできる能力を 身につける。

## 環境建設工学設計製図の単位修得について

環境建設工学設計製図は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学設計製図の単位修得のために は以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	環境建設工学に関して製図を通じて専門知識を習得するとともに、習得した専門 知識を応用・展開する能力を身につける。
E	課題に関する設計について、成果を自ら分析評価しながら適切な構造物を設計する能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。

## フレッシュパーソンセミナーの単位修得について

フレッシュパーソンセミナーは、以下の教育目標に対応する科目です。フレッシュパーソンセミナーの単 位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
А	地球環境問題や建設技術に関するビデオを視聴し、地域特性を理解する。
В	技術者としての倫理を学ぶ
F – 1	レポート、発表や、教員とのコミュニケーションから日本語を使う能力を身につ ける。

## 研究・発表の技法の単位修得について

研究・発表の技法は、以下の教育目標に対応する科目です。研究・発表の技法の単位修得のためには、以 下の全ての項目を満たすことが必要です。

1 2 2 ( ) 3 1 6 16 7 6	
関連する教育目標	説明
E	実験、演習を通して、レポートにとりまとめることのできる能力を身につける。
F - 1	指定図書に関する発表・質疑応答を通じてコミュニケーション能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。
Н	実験、演習を通して、レポートに取りまとめることのできる能力を身につける。

## 環境建設工学科課程表 (2021 年度入学者より適用)

※開講学年前期後期欄 { ○○一前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。 空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

					П			開		講	学	Ė	年							/Hz -1/.	
				BB BB		1年			2年			3年			4年		教職	建築士	必修	備考	
×	. 分	<b>}</b>	科 目 名	開講期	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	} ●印		修科目 職関連	[科目(選択、必修)   指定科目	
			聖書を学ぶ	半期	•		2												0	◇環境建設工学科を卒業し、学士	
		.	キリスト教の歴史と思想 キリスト教学A (キリスト教と倫理)	半期半期	-		2				_		2						0	号を得るためには124単位以上 を修得しなければならない。	
		人間	キリスト教学B(キリスト教と宗教)	半期									2							4科目のうち1科目2単位	
	Т	的	キリスト教学C(キリスト教と文化)	半期									2							以上を修得すること。計4	
	G	基	キリスト教学D(キリスト教と現代社会) 市民社会を生きる	半期半期			2						2						)	単位まで卒業単位に算入することができる。	
	ベ	礎	地球社会を生きる	半期	•		2													「人間的基礎」から10単位	
	1		科学技術社会を生きる	半期	•		2													以上を修得すること。	
	シ		キャリア形成と大学生活 クリティカル・シンキング	半期半期	•		2														
	ツ	知	数理的思考の基礎	半期	•		2														
	ク	的	統計的思考の基礎 科学的思考の基礎	半期半期	•		2													「知的基礎」から10単位以	
教	9	基	情報化社会の基礎	半期	•		2													上を修得すること。	
"		礎	メディア・リテラシー 読解・作文の技法	半期半期		•	2														
養			研究・発表の技法	半期	$\vdash$	•	2												0		
教			哲学	半期			2			2											
育			芸術論 歴史学	半期半期				•		2								*			
科		人	心理学	半期				•		2											
目		文	社会学 経済学	半期半期	-					2										「人文社会」から10単位以	
	学	社	経営学	半期					•	2										上を修得すること。	
	科	会	法学	半期	_		0		•	2							▲ <i>थ फि</i> ट				
	教		日本国憲法 東北地域論	半期半期			2			2							◆必修				
	養		東北学院の歴史	半期								•	2								
	科		健康の科学 生命の科学	半期半期	$\vdash$	•	2			2											
	E I	自	情報リテラシー	半期	•		2										◆必修		0		
		然	フレッシュパーソンセミナー 基礎数学演習	半期半期		•	1												0	「自然科学」から8単位以	
		科	基礎物理演習	半期	•		1												0	上を修得すること。	
		学	基礎化学演習	半期			1											A			
			技術者倫理 知的所有権	半期半期			2						2					*	0		
	地域		震災と復興	半期	•		2				Ĺ										
	地域教育科		地域の課題Ⅰ 地域の課題Ⅱ	半期半期	$\vdash$					2									0	「地域教育科目」から2単位以上を修得すること。	
	科 目		地域課題演習	通年									4							EXTENDITO CO	
			英語 I A 英語 I B	半期半期			1				_								0	「第1類」から必修4単位	
	第 1	L類		半期			1	•		1									0	以上を修得すること。	
外			英語ⅡB	半期					•	1							A i'l libr		0	海り同門建	
国		$\dashv$	英語コミュニケーションズ ドイツ語	半期半期	•		2			2	_						◆必修			週2回開講 週2回開講	
語	第2	2 類	フランス語	半期	يًا	•	2													週2回開講	
科	/14 4	- /%	中国語 韓国・朝鮮語	半期半期			2													週2回開講 週2回開講	
目	<b>举</b> 6	) 米石	ベーシック英語	半期	•		1													「ベーシック英語」履修を指示された者 は、「ベーシック英語」履修の後に1年	
	第3	) 親	英語Ⅲ	半期							•		1							後期に開講される「英語IA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業単位に含まない。	
保健	体育和	科目	体育講義	半期		•	2										A i'l libr				
		-	スポーツ実技 日本事情A	通年 半期			2	$\vdash$									◆必修			外国人留学生は、次により10単位までを外国	
外	第 1	L類	日本事情B	半期			2													外国人留学生は、次により10単位までを外国 人留学生科目の単位で代えることができる 日本事情Aは、教養教育科目学科教養科目の 人文社会2単位	
国人公			日本事情C	半期			2													日本事情Bは、教養教育科日字科教養科目の	
人留学生科			日本語IA	半期	•		1	_			_									自然科学2単位 日本事情Cは、保健体育科目の「体育講義」 2単位	
生科目	第2	2類	日本語 I B 日本語 II A	半期半期	-		1			1										日本語 I A は「英語 I A」 1 単位、日本語 I B は「英語 I B」 1 単位	
			日本語IIB	半期	$\vdash$				•	1										日本語ⅡAは「英語ⅡA」1単位、日本語Ⅱ Bは「英語ⅡB」1単位	
			•		_								_								

#### ※開講学年前期後期欄 { ○○一前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。 空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

1年   2年   3年   3年   3年   4年   3度   2年   3年   4年   3度   2年   3年   3年   3年   3年   3年   3年   3年		-							開		溝	学		年			1713	再期はンプハス・腹修 		
R							1年		1713			·				4年	-	教職 建築士 』	<b>必修</b>	備考
お理子		, r	,	到 口 夕	開								Ť							
## 2   1 日東   2   2   1 日東   2   2   2   3   3   3   3   3   3   3		<u> </u>	J.	件 日 石	期	前	後	単	前	後	単	前	後	単	前	後	単		科目	
数字 日						期	期	位	期	期	位	期	期	位	期	期	位			
数型子目   中間   2   2   2   3   3   3   3   3   4   3   3   3   3				11 mm \\\ -	.1. 100			_												)指定科目 ————————————————————————————————————
数元報分字1								2	Ļ										0	
数据が設定				* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *							2									
## 2								_												
P						_		_				_								(必修20年位)
### 27 2 日本								_				_							0	
古		学									9									
# 特別		小																		
プログラミング協能																				
理		共																	$\bigcirc$	
□ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		通																		
1		亩								Ť				2						
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日				工学総合演習 I						•	1								0	
日		門				İ			İ			•		1						
学		科		ジュニアセミナー										2						
		Ħ		卒業研究 I													3		0	
インターンシップ		П		卒業研究Ⅱ													3		0	卒業研究Ⅱは卒業試験を含む
キャリア・デザイン   平期														1						
海外研究																				
Para														2						
カ学および演習   早期   ○ 3   ○ 2   ○ 0   週2回開講   環境建設計画   中期   ○ 2   ○ 0   週2回開講   環境建設計画   中期   ○ 2   ○ 0   週2回開講   日   日   日   日   日   ○ 0   月   日   ○ 0   月   日   ○ 0   月   日   ○ 0   月									•											
環境建設基礎数学演習   宇期   ●   1   ●   2   ●   ●   ●   ●   ●   ●   ●   ●						_	_			•	2								_	
現場建設計画								_											_	週2回開講
接近力学 1 および演習   半期   ● 2   ● ● ○ 2   ● ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								1												
本理学   半期   ● 2   ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●						_														\# 0 □ HE3#
Part			心			_														週 2 凹 崩 薄
修   コンクリート工学   平期			2																	
環境工学 I   平期   ● 2   ● 0			修			_													-	
日			19			-						_								
地盤カ学   上下   上下   上下   上下   上下   上下   上下   上			私			$\vdash$														
環 日 鉄筋コンクリート工学 半期			17											2						
できた		環	н									•								
であって						•		2				Ť						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
P		児											•	1						
本   東京建設上学設計製図   半期   1   1   2   1   2   2   2   3   3   3   3   3   3   3	يد	土		環境建設工学実験	半期							•		2				•	0	
専門表礎工学 中期	1 +	木		環境建設工学設計製図	半期									2				•	0	
専	科	٠ ا		水理学Ⅱ														•		
門	専		専								2							•		
では、		1	門基			_						•		2						
日	' '	ス	礎			_		2	L_											「専門基礎・基盤科目」か
日	科	声	基								2									
科       「交通工学	目		盤			_			_		-	_		2				•		C 0
科		門	科     日			_					2			0						
Table   T		科				$\vdash$			$\vdash$						_					
環境・・						$\vdash$	-		$\vdash$					1			9			
で		H												9						
登			境			$\vdash$			$\vdash$									•		
本語   河川港湾工学   半期   ● 2   から6単位以上修得すること。   で			· 社						$\vdash$					_				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		「晋悟・社会其般工学到日」
盤 工 学 科 目 環境生物工学 半期 ● 2 ● 2 環境保全工学 半期 ● 2 応用水理学 半期 ● 2 連書 施工法および施工管理 半期 ● 2			会基									<u> </u>								
日 「現境保全上学 手期			盤							•	2			_				•		
日 環境保全上学			学										•	2						
応用水理学 半期 ● 2			朴     目															<b>•</b>		
				応用水理学																
				施工法および施工管理													_			
			目関	建設マネジメント	半期												2			

#### ※開講学年前期後期欄 { ○○一前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。 空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

_														, ( <u>;</u>	<b>尘欄</b>	一開	講期はシラク	ハス・腹1	修安垻 ———	を参照。
						1年		開	2年	溝	学	: 3年	年		4 年		教職	建築士	必修	備考
×	. 5	}	科 目 名	開講期	前期	Ė				単位		後期	単位		後期		◎印-   ◎印-   ◆印-	必修科 選択必6 工業教	 目 修科目 職関連	「科目(選択、必修) 指定科目
		建築設計製図	建築設計製図 I 建築設計製図 II 建築設計製図 II 建築設計製図 II	半期 半期 半期 半期				•	•	3	•	•	2 3				•	* * *	0	「建築設計製図」から7単 位以上を修得すること
		建築計画	建築計画 I 建築計画 I 建築計画 II 住居計画 西洋・近代建築史	半期 半期 半期 半期 半期				•	•	2 2 2	•		2				•	* * * *	0	「建築計画」から8単位以 上を修得すること。
	建	丁筮.	日本建築史 建築環境工学 建築環境計画	半期半期半期				•		2	•	•	2				•	* *	0	「建築環境工学」から2単 位以上を修得すること。
学	築コ	設建 備築	建築設備 建築設備計画 力学および演習	半期半期半期		•	3		•	2		•	2				•	* *	0	「建築設備」から2単位以 上を修得すること。 週2回開講
科専門	ース専	構造力学	構造力学 I および演習 構造力学 II 建築構造力学 地震工学 I	半期 半期 半期 半期				•	•	3 2		•	2 2				<b>*</b>	* * *	0	週2回開講 「構造力学」から7単位以 上を修得すること。
   科   目	門科	建築一般構造	建築構法 鉄筋コンクリート工学 鋼構造工学	半期半期半期				•		2	•		2 2				<b>*</b>	* * *	0	「建築一般構造」から4単 位以上を修得すること。
		建料報材建	建築材料学 コンクリート工学 生産管理	半期半期半期				•	•	2			2				<b>*</b>	* * *	0	「建築材料」から2単位以上を修得すること。 「建築生産」から2単位以
		産築生	施工法および施工管理	半期										•		2		*		上を修得すること。
		法建規築	建築法規 測量学 I 測量学 II	半期半期半期	•	•	2 2					•	2				•	* * *	0	「建築法規」から2単位を修得すること。
		建築関連	環境建設基礎数学演習 測量実習製図 都市計画 交通工学	半期 半期 半期 半期	•		1	•	•	2 2	•		2					* *	0	「建築関連」から8単位以 上を修得すること。
教育			CAD演習 特別講義 工業技術概論	半期半期半期			2				•		1	•		2	◆必修	*		
状のする	教科		職業指導 I 職業指導 Ⅱ 現代教職論	半期半期半期			2							•	•	2				
			教育基礎論 教育の制度と経営 教育心理学	半期半期半期	•	•	2 2			2							◆ 必修 ◆ 必修 ◆ 必修			
	教職等に関する科目		教育課程論 教育の方法と技術 教育相談の理論と方法	半期半期半期				•		2 2 2							<ul><li>◆必修</li><li>◆必修</li><li>◆必修</li></ul>			
	関する科目		生徒指導・進路指導の理論と方法 工業科教育法 (概論・理論) 工業科教育法 (実践・応用) 特別支援教育論	半期半期半期半期						2	•	•	2 2 2				<ul><li>◆必修</li><li>◆必修</li><li>◆必修</li><li>◆必修</li></ul>			
			特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法 教育実習 I 教職実践演習(中・高)	半期通年半期									2		•	3 2	<ul><li>◆必修</li><li>◆必修</li></ul>			

#### 卒業に必要な最低修得単位数

環境土木コース

	TG ベーシック	人間的基礎	10	
数 美 数 去 利 口	IG ( )	知的基礎	10	20
教養教育科目	学科教養科目	人文社会	10	38
	子件教食件日	自然科学	8	
地域教育科目			2	,
外国語科目		第1類(必修)	4	
学部共通専門科目			28	
		必修科目	30	
	理校上十一一	専門基礎・基盤科目	8	
<b>公利東明利日</b>	環境土木コース   専門科目	環境・社会基盤工学	C	
学科専門科目	等门作日 	科目	6	
		専門関連科目		
	関連科目			52
教養教育科目、地域		科目第1類~第2類、		
保健体育科目、他等	学部・他学科開講『	專門教育科目、環境建		
設工学科他コース和	計目、単位互換の抗	協定を締結している他		
大学開講科目				
		(合計8単位まで)		
卒業単位				124

#### 4年次進級に必要な最低修得単位数

環境土木コース

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類~第2類	40
学部共通専門科目	22
(ジュニアセミナーを含むこと)	22
学科専門科目	
(以下の必修科目を含むこと)	38
1 環境建設工学実験	30
2 環境建設工学設計製図	
進級単位	100

#### 卒業に必要な最低修得単位数

建築コース

教養教育科目 —	YG ベーシック 学科教養科目	知的基礎人文社会	10	38
	<b></b> 牟科教養科目	人文社会		
f	一件叙食件日	/CEA	10	30
1		自然科学	8	
地域教育科目			2	
外国語科目		第1類(必修)	4	
学部共通専門科目			28	
		建築設計製図	7	
		建築計画	8	
		建築環境工学	2	
		建築設備	2	
] 建	<b>津築コース専門</b>	構造力学	7	
学科専門科目	4目	建築一般構造	4	
		建築材料	2	
		建築生産	2	52
		建築法規	2	02
		建築関連	8	
関	<b>関連科目</b>			
教養教育科目、地域教	育科目、外国語	科目第1類~第2類、		
保健体育科目、他学部	『・他学科開講専	<b>専門教育科目、環境建</b>		
設工学科他コース科目	]、単位互換の協	協定を締結している他		
大学開講科目				
		(合計8単位まで)		
卒業単位				124

#### 4年次進級に必要な最低修得単位数

建築コース

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類~第2類	40
学部共通専門科目	22
(ジュニアセミナーを含むこと)	44
学科専門科目	
(以下の必修科目を含むこと)	
1 建築設計製図 I	38
2 建築設計製図Ⅱ	
3 建築設計製図Ⅲ	
進級単位	100

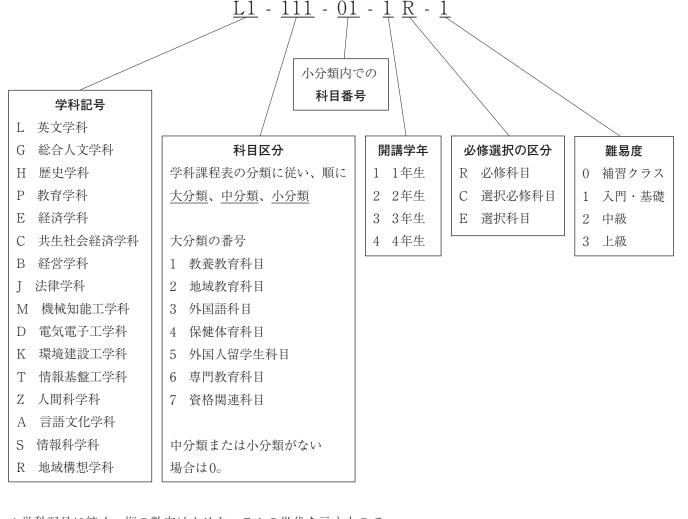
#### 〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針(ディプロマポリシー)のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている②は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、〇は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・ 目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

#### 〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



\*学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、 学生の皆さんが考慮する必要はありません。

		i iii	位揺与の	方針(ディ	プロマポリシ・	—)
		現代をよく	高度な知的	<b>リエ ( ) イン</b> ものごとを	専攻分野の専	<u> </u>
		生きること	活動に必要	広く多様な	門的知識とそ	し、その解決
7.1 T. 1	51 D 5	について、 キリスト教	な汎用的諸 技能・能力	視点から認 識し、異な	れを支える認 識や思考の方	
科目ナンバリング	科目名	の教えを踏	及び英語力	る認識・思	法を説明でき	
		まえた考察 ができる	を活用でき	考方法や価 値観に理解	る	
		W- (00)	る	を示すこと		
				ができる		
K0-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	0		0		
K0-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	0		0		
K0-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	0		0		
K0-111-04-3C-2	キリスト教学B(キリスト教と宗教) キリスト教学C(キリスト教と文化)	<u> </u>		0		
K0-111-05-3C-2 K0-111-06-3C-2	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	0		0		
K0-111-07-1E-1	市民社会を生きる			0		
K0-111-08-1E-1	地球社会を生きる			0		
K0-111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			0		
K0-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			0		
K0-112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		0	0		
K0-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		0			
K0-112-03-1E-1	統計的思考の基礎	<u> </u>	0			
K0-112-04-1E-1 K0-112-05-1E-1	科学的思考の基礎 情報化社会の基礎	<u></u>	<u> </u>	0		
K0-112-05-1E-1 K0-112-06-1E-1	情報化任会の基礎 メディア・リテラシー	-	0	(a)		
K0-112-00-1E-1 K0-112-07-1E-1	読解・作文の技法		0			
K0-112-08-1R-1	研究・発表の技法		0			
K0-121-01-2E-1	哲学	i i	Ì	0	İ	
K0-121-02-1E-1	芸術論			0		
K0-121-03-2E-1	歴史学			0		
K0-121-04-2E-1	心理学			0		
K0-121-05-2E-1	社会学			0		
K0-121-06-2E-1	経済学			0		
K0-121-07-2E-1 K0-121-08-2E-1	経営学 法学	-		<u> </u>		
K0-121-08-2E-1 K0-121-09-1E-1	日本国憲法			0		
K0-121-10-2E-1	東北地域論			0	<b>†</b>	
K0-121-11-3E-1	東北学院の歴史	0		0	1	
K0-122-01-2E-1	健康の科学		0			
K0-122-02-1E-1	生命の科学		0			
K0-122-03-1R-1	情報リテラシー		0			
K0-122-04-1R-1	フレッシュパーソンセミナー				0	
K0-122-05-1R-1 K0-122-06-1R-1	基礎数学演習 基礎物理演習	-	(i) (ii) (iii)			
K0-122-00-1K-1 K0-122-07-1E-1	基礎化学演習		0			
K0-122-08-1R-1	技術者倫理			(0)	(i)	0
K0-122-09-3E-1	知的所有権				0	Ŭ
K0-200-01-1E-1	震災と復興			0		0
K0-200-02-2R-1	地域の課題 I					0
K0-200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ					0
K0-200-04-3E-2	地域課題演習					0
K0-310-01-1R-1	英語IA	<u> </u>	0	0		
K0-310-02-1R-1	英語 I B 英語 II A	<u> </u>	© ©	0		
K0-310-03-2R-2 K0-310-04-2R-2	央部ⅡA 英語ⅡB		<u> </u>	0		
K0-310-04-2K-2 K0-310-05-2E-2	英語コミュニケーションズ		0	0		
K0-320-01-1E-1	ドイツ語	1	0	0	<u> </u>	
K0-320-02-1E-1	フランス語		0	Ö		
K0-320-03-1E-1	中国語		0	0		
K0-320-04-1E-1	韓国・朝鮮語		0	0		
K0-330-01-1E-0	ベーシック英語		0			
K0-330-02-3E-3	英語 <b>Ⅲ</b>	<del>                                     </del>	0	0		
K0-400-01-1E-1	本育講義			<u> </u>		
K0-400-02-1E-1 K0-510-01-1E-1	スポーツ実技 日本事情A	<del>                                     </del>	(i)	0		
K0-510-01-1E-1 K0-510-02-1E-1	日本事情A 日本事情B	-	0	0		
K0-510-03-1E-1	日本事情C		0	0		
K0-520-01-1E-1	日本語IA	t	0	0		
K0-520-02-1E-1	日本語IB		0	Ö		
K0-520-03-2E-2	日本語ⅡA		0	0		
K0-520-04-2E-2	日本語ⅡB		0	0		

				学位位	受与の方針(	ディプロフォ	<u>۹۱۱۶، — ۱</u>												
		現代をよく	高度な知的	ものごとを			<b>、リン一</b> ) 示すことができ	: る	課題を発見										
科目ナンバリング	科目名	名生にキのまができるいて、と、教略察 いたのまができるができるができるができるができるができる。 ないでは、教を考えできる。	活な技能が表示。 は、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	広視識る考値をができる。 な認な思価解と な認な思価解と	(1)土木工学、環境工学、建築学の専門知識に基づいて、社会が要求する問題について工学的	(2) 工学のののを技情をいいに、科する積をになり、関目のののを技情をにといいに、といいに、関目の人ができまります。	(3) 卒業研究	(4) 工学技術倫 者としての生 の重要性に ついて説明することができ る。	し、決学修合的とる のとのと のと が と のと のと のと のと のと のと のと のと のと のと のと のと の										
	物理学 I				0														
	物理学Ⅱ				0														
	微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ		-	-	0														
	線形代数学				0														
K0-610-06-1E-1	自然科学実験ファンダメンタルズ				0	0			0										
K0-610-07-2E-2 K0-610-08-2E-2	微分方程式 フーリエ解析				0														
	ローリエ解析 確率統計学				0														
K0-610-10-2R-2	プログラミング基礎				0														
	プログラミング応用 工業革基		<u> </u>	-	0														
K0-610-12-3E-2 K0-610-13-2R-1	工業英語 工学総合演習 I		©		0														
K0-610-14-3R-2	工学総合演習Ⅱ				0														
K0-610-15-3R-2	ジュニアセミナー					0	0	0	0										
K0-610-16-4R-3 K0-610-17-4R-3	卒業研究 I 卒業研究 Ⅱ	0				<u> </u>	(i) (ii) (iii)	(i) (ii) (iii)		学外見学			0		0			0	
	インターンシップ			0		0			0										
K0-610-20-3E-2 K0-610-21-2E-3	キャリア・デザイン 海外研究 I			0															
K0-610-22-2E-3	海外研究Ⅱ			0															
K0-621-01-1R-2	力学および演習				0														
K0-621-02-1R-1 K0-621-03-2R-2	環境建設基礎数学演習 環境建設計画				© ©														
	環境建設計画 構造力学Ⅰおよび演習				0														
	水理学 I				0														
K0-621-06-2R-2 K0-621-07-2R-2	地盤力学 I コンクリート工学				© ©														
K0-621-07-2R-2 K0-621-08-2R-2	環境工学Ⅰ				0														
K0-621-09-2R-2	構造力学Ⅱ				0														
K0-621-10-3R-2	地盤力学Ⅱ				0														
K0-621-11-3R-2 K0-621-12-1R-2	鉄筋コンクリート工学 測量学 I				© ©														
K0-621-13-3R-2	環境建設工学総合演習				0														
K0-621-14-3R-2	環境建設工学実験				0	0			0										
K0-621-15-3R-2 K0-622-01-2E-2	環境建設工学設計製図 水理学 II				0	<u></u>			0										
K0-622-02-2E-2					0														
K0-622-03-3E-2					0				_										
K0-622-04-1E-2 K0-622-05-2E-2			1		0				(i) (ii) (iii)		側重夫百衆凶 地震工学 I		<u> </u>	<u> </u>	0				9
	都市計画				0														
K0-622-08-3E-2 K0-622-09-3E-2	交通工学 CAD演習		<del>                                     </del>	<del>                                     </del>	0														
K0-623-01-4E-3		<del>                                     </del>			0														
K0-623-02-3E-3	構造力学Ⅲ				Ō														
	コンクリートメインテナンス工学 網棒洗工学		-	-	0														
K0-623-04-3E-3 K0-623-05-3E-3	鋼構				0														
K0-623-06-2E-3	環境の化学				Ö														
K0-623-07-3E-3					0														
K0-623-08-3E-3 K0-623-09-3E-3			-	-	0														
	施工法および施工管理				0														
	建設マネジメント				0														
K0-631-01-2R-2 K0-631-02-2R-2	建築設計製図 I 建築設計製図 II			0		<u> </u>			0										
	建築設計製図Ⅲ 建築設計製図Ⅲ			0		0			0										
K0-631-04-3E-3	建築設計製図IV			Ō		0			Ö										
	建築計画 I 建築計画 II		-	0	-	0			0										
	建築計画Ⅱ 建築計画Ⅲ			0		<u> </u>			0										
K0-632-04-2E-2	住居計画			0					Ŭ										
	西洋・近代建築史			0															
K0-632-06-3E-2 K0-633-01-2R-2	日本建築史 建築環境工学	<del>                                     </del>	-	©	0														
VO 099 01_7V_7	<b>仁木</b> 來先上丁		I	I	$\overline{}$				l										

	学位授与の方針(ディプロマポリシー)								
		現代をよく	高度な知的	ものごとを			示すことができ	る	課題を発見
科目ナンバリング	科目名	生きついています。生きないこと、教をはいます。と、教をはいません。またまできる。	活動別に必めません。 おいま おいま おいま おいま おいま おいま おいま おいま おいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま か	広視識の考値をが く点た、職・や理こる を必要ない、職・や理こる を必要ないできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	(1)土木工学、環境工学、建築学の専門が、 薬学の専門が、 で、社会が題に、 なのいて、社会の題に のいていることができる。	(2) 工学系の 場合は いい の の 事身も、関 自ら 手 を し、 関 科 す ら を し、 関 科 す ら を し、 関 科 す ら ら し る し る し る る る る る る る る る る る る る	(3) 卒業研究 を通して、専 門分野の基礎 知識を活用し	(4) 工学技術 者としての作 理の重要性明 ついて説明す ることができ る。	し、の解 決の作と 学修合的に 用できる
K0-633-02-3E-3	建築環境計画				0				
K0-634-01-2R-2	建築設備				0				
K0-634-02-3E-3	建築設備計画				0				
K0-635-01-1R-2	力学および演習				0				
	構造力学Iおよび演習				0				
	構造力学Ⅱ				0				
	建築構造力学				0				
K0-635-05-3E-2	地震工学 I				Ô				
K0-636-01-2R-2	建築構法				0				
	鉄筋コンクリート工学				0				
K0-636-03-3E-3	鋼構造工学				Õ				
K0-637-01-2R-2	建築材料学				0				
K0-637-02-2E-2	コンクリート工学				0				
K0-638-01-3E-2	生産管理				0				
K0-638-02-4E-3	施工法および施工管理				0				
K0-639-01-3R-2	建築法規			0	Ü			0	
K0-640-01-1R-2	測量学 I				0				
	測量学Ⅱ				Ö				
K0-640-03-1R-1	環境建設基礎数学演習				0				
	測量実習製図				Ô				
K0-640-05-2E-2	都市計画				Ö				
	交通工学				Ö				
K0-640-07-3E-2	CAD演習				0				
	特別講義				0				
K0-701-01-4R-2	工業技術概論			0	0				
K0-701-02-4R-2	工業系の職業指導			Ô	0				
K0-701-03-4R-2	機械系の職業指導			Ô	0				
K0-702-01-1R-1	現代教職論			0					
K0-702-02-1R-1	教育基礎論			0	†		1		
K0-702-03-1R-2	教育の制度と経営			0	†		1		
K0-702-04-2R-2	教育心理学			0					
K0-702-05-2R-2	教育課程論			0	1				
K0-702-06-2R-2	教育の方法と技術			0	1				
K0-702-07-2R-2	教育相談の理論と方法			0	1				
K0-702-08-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			0					
K0-702-09-3R-3	工業科教育法(概論・理論)			Ŏ	0				
K0-702-10-3R-3	工業科教育法(実践・応用)			Ŏ	0				
K0-702-11-3R-3	特別支援教育論			Ŏ	0				
K0-702-12-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			Ö	0				
K0-702-13-4R-3	教育実習 I				Ö				0
K0-702-14-4R-3	教職実践演習(中・高)			0	1		ĺ	1	0

# 【環境建設工学科の学習・教育到達目標と達成度】

学習・教育到達目標達成度チェック表 (2017 (平成 29) 年度入学生より)

項	B	学習・教育目標		達成科 目数
A 理		地球環境問題などに対する多面的視点を持ちつつ、東北という地域特性を 理解した環境建設技術者としての視点を身につける[多面的視点を持つ技 術者]	12	6
В		キリスト教を通して社会人としての良識と一般教養を着実に身につけるとともに、技術者としての倫理観を備え、科学技術と自然・社会との関わりを考えて行動できる素養を身につける[社会人としての良識と技術者倫理]	9	5
	C - 1	数学、自然科学と工学基礎に関する知識や学力を修得し、それを問題解決 に活用できる応用力を身につける [数学、科学技術の知識と応用能力]		8
С	C - 2	情報技術に関する基本的な知識とスキルを修得し、実社会で活用できる能力を身につける[情報技術のスキルと応用能力]		2
	D	環境建設工学における基礎的な専門知識と学力を修得し、中核となる技術 者として応用・展開できる能力を身につける[専門科目の基礎学力と応用 能力]		15
	社会の要求を解決するために科学技術に関する情報を積極的に入手し、認 E 題に対する計画、遂行、分析・評価、改善のサイクルを通じて、問題解決 のための能力を身につける[問題解決のためのデザイン能力]		6	6
F	F - 1	技術的・社会的に十分通用する日本語を使える能力を身につける [日本語表現能力]	6	5
	F - 2	英語によるコミュニケーション基礎能力を修得する [国際コミュニケーション基礎能力]	6	4
	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶる G さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。		8	8
H   ' ' '		卒業研修・実験・演習・実習などを通じて、計画立案、遂行、とりまとめ までを自ら行うことのできる能力を身につける [立案能力と総括能力]	4	4

各教育目標に対応する科目については、別に配布する「達成度の自己点検表」を見てください。

## 卒業研究 I の単位修得について

卒業研究」は以下の教育目標に対応する科目です。卒業研究」の単位修得に関する評価項目は以下の通りです。

項目	関連する教育目標	評 価 項 目
1	Е	課題の問題と背景を理解し、それを解決する方法を導き適切に実施する ことにより、課題を解決している。
2	F – 1	ゼミや中間報告の資料が、背景・目的・結果・考察等、一貫性のある内容を有し、まとめられ、理解しやすいように作成されている。
3	G	前期を通じて、卒業研究に対して自ら積極的に学び、取り組んでいる。
4	Н	自ら研究・調査を計画・実行し、ゼミの資料や中間報告の資料を自分の 力でとりまとめて作成している。

## 卒業研究Ⅱの単位修得について

卒業研究Ⅱは以下の教育目標に対応する科目です。卒業研究Ⅱの単位修得に関する評価項目は以下の通りです。

項目	関連する教育目標	評 価 項 目
1	Е	課題の問題と背景を理解し、それを解決する方法を導き適切に実施する ことにより、課題を解決している。
2	F – 1	ゼミや中間報告の資料が、背景・目的・結果・考察等、一貫性のある内容を有し、まとめられ、理解しやすいように作成されている。
3		卒業論文発表会での学科教員による評価の平均点を用いる。
4	G	後期を通じて、卒業研究に対して自ら積極的に学び、取り組んでいる。
5	Н	自ら研究・調査を計画・実行し、卒業論文を自分の力でとりまとめて作成している。

# 環境建設工学総合演習の単位修得について

環境建設工学総合演習は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学総合演習の単位修得のため には以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	各科目に関する応用的な問題・課題を解くことができる。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。

## 環境建設工学実験の単位修得について

環境建設工学実験は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学実験の単位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	構造工学、水理学、地盤工学、材料・コンクリート工学、環境工学に関して実験 を通じて専門知識を習得するとともに、習得した専門知識を応用・展開する能力 を身につける。
E	実験結果について、分析評価し、解決することにより、デザイン能力の基礎を身につける。
F - 1	実験レポートの作成により、物事を説明するための文章能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。
Н	実験を通して、計画立案、遂行、とりまとめまでを自ら行うことのできる能力を 身につける。

## 環境建設工学設計製図の単位修得について

環境建設工学設計製図は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学設計製図の単位修得のために は以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	環境建設工学に関して製図を通じて専門知識を習得するとともに、習得した専門 知識を応用・展開する能力を身につける。
E	課題に関する設計について、成果を自ら分析評価しながら適切な構造物を設計する能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。

# フレッシュパーソンセミナーの単位修得について

フレッシュパーソンセミナーは、以下の教育目標に対応する科目です。フレッシュパーソンセミナーの単 位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
А	地球環境問題や建設技術に関するビデオを視聴し、地域特性を理解する。
В	技術者としての倫理を学ぶ
F – 1	レポート、発表や、教員とのコミュニケーションから日本語を使う能力を身につ ける。

## 研究・発表の技法の単位修得について

研究・発表の技法は、以下の教育目標に対応する科目です。研究・発表の技法の単位修得のためには、以 下の全ての項目を満たすことが必要です。

1 NE CONTENTO / CONTENTO											
関連する教育目標	説明										
E	実験、演習を通して、レポートにとりまとめることのできる能力を身につける。										
F - 1	指定図書に関する発表・質疑応答を通じてコミュニケーション能力を身につける。										
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。										
Н	実験、演習を通して、レポートに取りまとめることのできる能力を身につける。										

## 環境建設工学科課程表 (2019年度入学者より適用)

					П			開		講	- 学	<u> </u>	年	<u> </u>			時初はクス			
						1年	Ē		2年		·	3年			4年	Ξ.	教職	建築士	必修	備考
×	. <i>5</i> .	<del>}</del>	科 目 名	開講期	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	} ◎印 ◆印		修科目 職関連	  科目(選択、必修)  指定科目
			聖書を学ぶ	半期	•	_	2												0	◇環境建設工学科を卒業し、学士
		١, ١	キリスト教の歴史と思想 キリスト教学A (キリスト教と倫理)	半期半期	-		2						2						0	号を得るためには124単位以上 を修得しなければならない。
		人	キリスト教学B(キリスト教と宗教)	半期	$\vdash$								2						-	
	Т	間的	キリスト教学C (キリスト教と文化)	半期									2							4科目のうち1科目2単位 以上を修得すること。計4
	G	基	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	半期									2						J	単位まで卒業単位に算入す
	ベ	礎	市民社会を生きる地球社会を生きる	半期半期	•		2													ることができる。
	,		科学技術社会を生きる	半期	•		2													「人間的基礎」から10単位 以上を修得すること。
	'		キャリア形成と大学生活	半期	•		2													<u>М</u> <u>т</u> ери у в с с в
	シ		クリティカル・シンキング 数理的思考の基礎	半期半期	•		2													
	ツ	知	統計的思考の基礎	半期	•		2													
	ク	的	科学的思考の基礎	半期	•		2													「知的基礎」から10単位以
教		基	情報化社会の基礎 メディア・リテラシー	半期半期			2													上を修得すること。
養		礎	読解・作文の技法	半期		•	2													
教			研究・発表の技法	半期			2												0	
育			哲学 芸術論	半期半期			2			2								*		
科		人		半期				•		2										
1			心理学	半期				•		2										
	بدر	文	社会学	半期半期	_					2										「人文社会」から10単位以
	学	社	経済学 経営学	半期						2										上を修得すること。
	科	会	法学	半期					•	2										
	教		日本国憲法	半期	_	•	2			0							◆必修			
	養	$\vdash$	東北地域論 健康の科学	半期半期	$\vdash$				•	2							-			
	科	, <u>,</u>	生命の科学	半期			2													
		自	情報リテラシー	半期	•		2										◆必修		0	
	B	然	フレッシュパーソンセミナー 基礎数学演習	半期半期		•	1												0	「自然科学」から8単位以
		科	基礎物理演習	半期	•		1												0	上を修得すること。
		学	基礎化学演習	半期			1													
			技術者倫理 知的所有権	半期半期	-	•	2						2					*	0	
	地		震災と復興	半期			2													
	地域教育科		地域の課題 I	半期						2									0	「地域教育科目」から2単
	育科目		地域の課題Ⅱ 地域課題演習	半期通年	├					2	_		4							位以上を修得すること。
	Н	$\neg$	英語IA	半期			1						4						0	
			英語 I B	半期		•	1												0	「第1類」から必修4単位
外	第 ]	L類	英語ⅡA 英語ⅡB	半期半期	-					1									0	以上を修得すること。
国			英語コミュニケーションズ	半期	$\vdash$					2							◆必修			週2回開講
			ドイツ語	半期	•		2													週2回開講
語	第2	2類	フランス語 中国語	半期半期			2													週2回開講 週2回開講
科		_	韓国・朝鮮語	半期		•	2													週2回開講
目	<b>第</b>	3類	ベーシック英語	半期	•		1													「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修を指示された者
	N7 €	カタ	英語Ⅲ	半期							•		1							後期に開講される「英語 IA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業単位に含まない。
保健	体育和	科目	体育講義 スポーツ実技	半期通年	•	•	2										◆必修			
7.7	,.		日本事情A	半期			2													外国人留学生は、次により10単位までを外国 人留学生科目の単位で代えることができる
外国	第 1	L類	日本事情B	半期	_		2													日本事情Aは、教養教育科目学科教養科目の 人文社会2単位
人留		-	日本事情 C 日本語 I A	半期半期			2													<ul><li>□ 日本事情Bは、教養教育科目学科教養科目の 自然科学2単位</li></ul>
人留学生科目			日本語IA 日本語IB	半期			1													日本事情 C は、保健体育科目の「体育講義」 2 単位
科   目	第2	2類	日本語IA	半期				•		1										日本語IAは「英語IA」1単位、日本語IBは「英語IB」1単位 日本語ⅡAは「英語ⅡA」1単位、日本語Ⅲ
			日本語ⅡB	半期						1										日本語ⅡAは「英語ⅡB」1単位、日本語Ⅱ Bは「英語ⅡB」1単位

1年   2年   3年   3年   3年   4年   3度   2年   3年   4年   3度   2年   3年   3年   3年   3年   3年   3年   3年									開		溝	学		年			1713	語期はンプハス・腹修 						
R							1年		1713			·				4年	-	教職 建築士 』	<b>必修</b>	備考				
お理子		, r	,	<b>利 口 </b> 夕	開								Ť											
## 2   1 日東   2   2   1 日東   2   2   2   3   3   3   3   3   3   3		<u> </u>	J.	件 日 石	期	前	後	単	前	後	単	前	後	単	前	後	単		科目					
数字 日						期	期	位	期	期	位	期	期	位	期	期	位							
数型子目   中間   2   2   2   3   3   3   3   3   4   3   3   3   3				11 mm \\\ -	.1. 100			_												)指定科目 ————————————————————————————————————				
数元報分字1								2	Ļ										0	도까지 바 그 후 편집 다 !				
数据が設定				* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *							2													
## 2								_																
P						_		_				_								(必修20年位)				
### 27 2 日本								_				_							0					
古		学									9													
# 特別		小																						
プログラミング協能																								
理		共																	$\bigcirc$					
□ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		通																						
1		亩								Ť				2										
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日				工学総合演習 I						•	1								0					
日		門				İ			İ			•		1										
学		科		ジュニアセミナー										2										
		Ħ		卒業研究 I													3		0					
インターンシップ		П		卒業研究Ⅱ													3		0	卒業研究Ⅱは卒業試験を含む				
キャリア・デザイン   平期														1										
海外研究																								
Para														2										
カ学および演習   早期   ○ 3   ○ 2   ○ 0   週2回開講   環境建設計画   中期   ○ 2   ○ 0   週2回開講   環境建設計画   中期   ○ 2   ○ 0   週2回開講   日   日   日   日   日   ○ 0   月   日   ○ 0   月   日   ○ 0   月   日   ○ 0   月									•															
環境建設基礎数学演習   宇期   ●   1   ●   2   ●   ●   ●   ●   ●   ●   ●   ●						_	_			•	2								_					
現場建設計画								_											_	週2回開講				
接近力学 1 および演習   半期   ● 2   ● ● ○ 2   ● ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								1																
本理学   半期   ● 2   ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●						_														\# 0 □ HE3#				
Part			心			_														週 2 凹 崩 薄				
修   コンクリート工学   平期			2																					
環境工学 I   平期   ● 2   ● 0			修			_													-					
日			19			-						_												
地盤カ学   上下   上下   上下   上下   上下   上下   上下   上			私			$\vdash$																		
環 日 鉄筋コンクリート工学 半期			17											2										
できた		環	н									•												
であって						•		2				Ť						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
P		児											•	1										
本   東京建設上学設計製図   半期   1   1   2   1   2   2   2   3   4   3   3   4   4   4   4   4   4	يد	土		環境建設工学実験	半期							•		2				•	0					
専門表礎工学 中期	1 +	木		環境建設工学設計製図	半期									2				•	0					
専	科	٠ ا		水理学Ⅱ														•						
門	専		専								2							•						
では、		1	門基			_						•		2										
日	' '	ス	礎			_		2	L_											「専門基礎・基盤科目」か				
日	科	声	基								2													
科       「交通工学	目		盤			_			_		-	_		2				•		C 0				
科		門	科     日			_					2			0										
Table   T		科				$\vdash$			$\vdash$						_									
環境・・						$\vdash$	-		$\vdash$					1			9							
で		H												9										
登			境			$\vdash$			$\vdash$									•						
本語   河川港湾工学   半期   ● 2   から6単位以上修得すること。   で			· 社						$\vdash$					_				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		「晋悟・社会其般工学到日」				
盤 工 学 科 目 環境生物工学 半期 ● 2 ● 2 環境保全工学 半期 ● 2 応用水理学 半期 ● 2 連書 施工法および施工管理 半期 ● 2			会基									<u> </u>												
日 「現境保全上学 手期			盤							•	2			_				•						
日 環境保全上学			学										•	2										
応用水理学 半期 ● 2			朴     目															<b>•</b>						
				応用水理学																				
				施工法および施工管理													_							
			目関	建設マネジメント	半期												2							

				1	_			HH		dir	337		Fr.			171)	講期はシラ 	<b>///ハ</b> / / / / / / / / / / / / / / / / / /	沙女供	C 5000
						1年		開	2年	溝	学	<u>.</u> 3年	年		4年	-	教職	建築士	必修	備考
×	<u> </u>	分	科 目 名	開講期	前期	後期	単位		後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	   ○印   ◆印	- 必修科 - 選択必 - 工業教	目 修科目 職関連	    科目(選択、必修)  指定科目
		建	建築設計製図 I	半期				•		2							•	*	0	
İ	İ	建築設計製図	建築設計製図Ⅱ	半期						3								*	0	「建築設計製図」から7単
	İ	計製	建築設計製図Ⅲ	半期									2					*	0	位以上を修得すること
		図	建築設計製図IV	半期									3					*		
			建築計画 I	半期						2							•	*	0	
		7.#	建築計画Ⅱ	半期						2								*	0	
		建築計	建築計画Ⅲ	半期									2					*		「建築計画」から8単位以
		計画	住居計画	半期						2								*		上を修得すること。
			西洋・近代建築史	半期									2					*		
			日本建築史	半期									2					*		
		境建 工築		半期				•		2							•	*	0	「建築環境工学」から2単
	建	学環		半期									2					*		位以上を修得すること。
	築	設建 備築	建築設備	半期						2		_					•	*	0	「建築設備」から2単位以
学		州米	<b>建</b> 未以	半期	_	_							2					*	_	上を修得すること。
	コ		力学および演習	半期		•	3	_									•	*	0	週2回開講
科	1	構造	構造力学Iおよび演習	半期				•	_	3							•	*		週2回開講
専	ス	造力	構造力学Ⅱ	半期						2			_				•	*		「構造力学」から7単位以
一門	専	学	建築構造力学	半期									2					*	0	上を修得すること。
		建	地震工学Ⅰ	半期									2				•	*		
科	門	建築一	建築構法	半期						2			0				•	*	0	「建築一般構造」から4単
目	科	般構造	鉄筋コンクリート工学	半期半期									2				•	*		位以上を修得すること。
	I	造建	鋼構造工学 建築材料学	半期						2			2				•	*	0	[74: 66: LL.MI ]
		料築材	7 = 777 77 7	半期						2							•	*		「建築材料」から2単位以 上を修得すること。
		$\vdash$	生産管理	半期	$\vdash$								2				_	*		「建築生産」から2単位以
		建 産築 生	施工法および施工管理	半期												2		*		上を修得すること。
		法建規築	建築法規	半期									2			<u> </u>	•	*	0	「建築法規」から2単位を修得すること。
		/9C 7K	測量学 I	半期			2					_	_				Ť	*	0	1/2/10/2007 / 2 1   12 2   2   1   2   2   2   2   2
			測量学Ⅱ	半期		•	2											*		
		建築	環境建設基礎数学演習	半期	•		1												0	
		築関	測量実習製図	半期				•		2								*		「建築関連」から8単位以 上を修得すること。
	İ	連	都市計画	半期						2								*		工で移行すること。
			交通工学	半期									2					*		
			CAD演習	半期									1					*		
	関連	科目	特別講義	半期			2													
教育				半期												2				
状の				半期												2				
する			職業指導Ⅱ	半期											•	2	_			
			現代教職論	半期			2										◆必修			
			教育基礎論	半期		_	2										◆必修			
			教育の制度と経営	半期	-		2										◆必修		$\vdash$	
	址。		教育心理学	半期						2							◆必修		$\vdash$	
	教職等に関する科目		教育課程論	半期						2							◆必修		$\vdash$	
	等に		教育の方法と技術	半期						2							◆必修		$\vdash$	
	関立		教育相談の理論と方法	半期半期	$\vdash$			_		2							<ul><li>◆必修</li><li>◆必修</li></ul>		$\vdash$	
	する		生徒指導・進路指導の理論と方法 工業科教育法 (概論・理論)	半期	$\vdash$					4			2				◆必修		$\vdash$	
	科		工業科教育法(実践・応用)	半期	$\vdash$								2				◆必修		$\vdash$	
	口		特別支援教育論	半期	$\vdash$								2				◆必修		$\vdash$	
			特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期	$\vdash$								2				◆必修		$\vdash$	
			教育実習I	通年									_			3				
			教職実践演習(中・高)	半期											•	2			$\vdash$	
				1 /93				ь						لــــا	_		+ ~ r>			

#### 卒業に必要な最低修得単位数

環境土木コース

	TG ベーシック	人間的基礎	10							
数 美 数 去 利 口	IG ( )	知的基礎	10	20						
教養教育科目	学科教養科目	人文社会	10	38						
	子件教食件日	自然科学	8	]						
地域教育科目			2	,						
外国語科目		第1類(必修)	4							
学部共通専門科目			28							
		必修科目	30							
	理校上十一一	専門基礎・基盤科目	8							
<b>公利東明利日</b>	環境土木コース   専門科目	環境・社会基盤工学	C							
学科専門科目	等门作日 	科目	6							
		専門関連科目								
	関連科目		52							
教養教育科目、地域		科目第1類~第2類、								
保健体育科目、他等	学部・他学科開講『	專門教育科目、環境建								
設工学科他コース和	計目、単位互換の抗	協定を締結している他								
大学開講科目										
(合計8単位まで)										
卒業単位										

#### 4年次進級に必要な最低修得単位数

環境土木コース

教養教育科目及び地域教育科目	40	
外国語科目第1類~第2類	40	
学部共通専門科目	22	
(ジュニアセミナーを含むこと)	22	
学科専門科目		
(以下の必修科目を含むこと)	38	
1 環境建設工学実験	30	
2 環境建設工学設計製図		
進級単位	100	

### 卒業に必要な最低修得単位数

建築コース

教養教育科目 —	YG ベーシック 学科教養科目	知的基礎人文社会	10	38				
	<b></b> 牟科教養科目	人文社会						
f	一件叙食件日	/CEA	10	30				
1		自然科学	8					
地域教育科目	地域教育科目							
外国語科目		第1類(必修)	4					
学部共通専門科目			28					
		建築設計製図	7					
		建築計画	8					
		建築環境工学	2					
	建築コース専門 目 科目	建築設備	2					
建			構造力学	7				
学科専門科目			科目	科目	科目	科目	科目 建築一般	建築一般構造
		建築材料	2					
		建築生産	2	52				
		建築法規	2	02				
		建築関連	8					
関	<b>関連科目</b>							
教養教育科目、地域教	育科目、外国語	科目第1類~第2類、						
保健体育科目、他学部	『・他学科開講専	<b>専門教育科目、環境建</b>						
設工学科他コース科目	]、単位互換の協	協定を締結している他						
大学開講科目								
		(合計8単位まで)						
卒業単位				124				

### 4年次進級に必要な最低修得単位数

建築コース

教養教育科目及び地域教育科目	40		
外国語科目第1類~第2類			
学部共通専門科目	22		
(ジュニアセミナーを含むこと)	44		
学科専門科目			
(以下の必修科目を含むこと)			
1 建築設計製図 I	38		
2 建築設計製図Ⅱ			
3 建築設計製図Ⅲ			
進級単位	100		

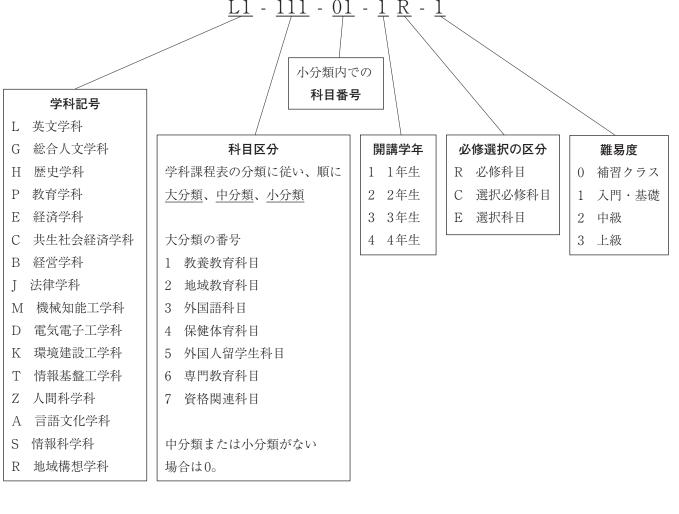
#### 〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針(ディプロマポリシー)のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている②は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、〇は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・ 目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

#### 〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



\*学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、 学生の皆さんが考慮する必要はありません。

		<u> </u>	位接与の	方針(ディフ	プロマポリシ-	—)
		現代をよく	高度な知的	ものごとを	専攻分野の専	
		生きること	活動に必要	広く多様な	門的知識とそ	し、その解決
		について、 キリスト教	な汎用的諸 技能・能力	視点から認 識し、異な		のために学修 成果を総合的
科目ナンバリング	科目名	の教えを踏	及び英語力	る認識・思		成未を総合的 に活用できる
		まえた考察	を活用でき	考方法や価	3	1 1 1 7 1 7 1 2 3
		ができる	る	値観に理解		
				を示すこと ができる		
K0-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	<u></u>		0		
K0-111-01-1K-1 K0-111-02-1R-1	宝音を子ぶ キリスト教の歴史と思想	<u> </u>		0		
K0-111-03-3C-2	キリスト教学A(キリスト教と倫理)	0	<del> </del>	0		
K0-111-04-3C-2	キリスト教学B(キリスト教と宗教)	0		0		
K0-111-05-3C-2	キリスト教学C(キリスト教と文化)	0	<del>                                     </del>	0		
K0-111-06-3C-2	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	0		0		
K0-111-07-1E-1	市民社会を生きる			0		
K0-111-08-1E-1	地球社会を生きる			0		
K0-111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			0		
K0-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			0		
K0-112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		0	0		
K0-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		0			
K0-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		0			
K0-112-04-1E-1	科学的思考の基礎		0	0		
K0-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		0	0		
K0-112-06-1E-1	メディア・リテラシー		0	0		
K0-112-07-1E-1	読解・作文の技法		0			
K0-112-08-1R-1	研究・発表の技法		0			
K0-121-01-2E-1	哲学			0		
K0-121-02-1E-1	芸術論			0		
K0-121-03-2E-1	歴史学			0		
K0-121-04-2E-1	心理学			0		
K0-121-05-2E-1	社会学			0		
K0-121-06-2E-1	経済学			0		
K0-121-07-2E-1	経営学			0		
K0-121-08-2E-1	法学			0		
K0-121-09-1E-1	日本国憲法			0		
K0-121-10-2E-1 K0-122-01-2E-1	東北地域論 健康の科学		(i)	0		
K0-122-02-1E-1	生命の科学		0			
K0-122-03-1R-1	情報リテラシー		0			
K0-122-04-1R-1	フレッシュパーソンセミナー				(i)	
K0-122-05-1R-1	基礎数学演習		0		Ü	
K0-122-06-1R-1	基礎物理演習		0			
K0-122-07-1E-1	基礎化学演習		0			
K0-122-08-1R-1	技術者倫理			0	0	0
K0-122-09-3E-1	知的所有権				0	
K0-200-01-1E-1	震災と復興			0		0
K0-200-02-2R-1	地域の課題 I					0
K0-200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ		<u> </u>			0
K0-200-04-3E-2	地域課題演習			_		0
K0-310-01-1R-1	英語 I A		0	0		
K0-310-02-1R-1	英語 I B		0	0		
K0-310-03-2R-2	英語ⅡA		0	0		
K0-310-04-2R-2	英語Ⅱ B		0	0		
K0-310-05-2E-2	英語コミュニケーションズ		0	0		
K0-320-01-1E-1	ドイツ語		0	0		
K0-320-02-1E-1	フランス語		0	0		
K0-320-03-1E-1	中国語		0	0		
K0-320-04-1E-1	韓国・朝鮮語 ベーシック英語	-	© ©	0		
K0-330-01-1E-0 K0-330-02-3E-3	ペーンック 央語 英語Ⅲ		0	0	-	
K0-330-02-3E-3 K0-400-01-1E-1	体育講義	<del>                                     </del>	$\cup$	©		
K0-400-01-1E-1 K0-400-02-1E-1	伊有講義   スポーツ実技		<del>                                     </del>	0	-	
K0-400-02-1E-1 K0-510-01-1E-1	日本事情A	<del>                                     </del>	<u></u>	0		
K0-510-01-1E-1 K0-510-02-1E-1	日本事情A 日本事情B		(i) (ii) (ii	0	<del>                                     </del>	
K0-510-02-1E-1 K0-510-03-1E-1	日本事情 C		0	0		
K0-520-01-1E-1	日本語 I A	<del>                                     </del>	0	0	<del>                                     </del>	
K0-520-02-1E-1	日本語IB		0	0		
K0-520-03-2E-2	日本語IIA		0	0		
K0-520-04-2E-2	日本語ⅡB		0	Ö		
	* ***					

特別サンバリング   利目名		学位授与の方針(ディブロマボリシー)								
ABS   1	課題を発見	きる					高度な知的	現代をよく		
NO-610-01-22-23   物理学目	し、その解とその解という。	(4) 工学技術 者としての倫 理の重要性に ついて説明す ることができ	(3) を門知て修と成と要こな、基用なる研りの活的め、とそ明の活的が、とそ明で、基用なる研りのすきとのです。	(2) 工学系ののを技情をいいた。 (2) 工学系野ののを技情をに、関自人ではないに、対けにをにとができません。 (2) できる。 (4) できる。 (4) できる。 (5) できる。 (5) できる。 (5) できる。 (5) できる。 (5) できる。 (6) できる。	(1)土木工学、 環境工学、建知 、土木工学、建知 、土土、 ・土土、 ・土土、 ・土土、 ・土土、 ・土土、 ・土土、 ・土土	広視能し認 は認 は認 は認 は認 は に に に に に に に に に に に に に	活動に必要 な汎用・能力 及び手 を活用でき	生きることというない。また考といって、教踏なった考察	科目名	科目ナンパリング
NO-610-02-25-3									44-7H 24 T	W0 010 01 1D 0
BO-610-03-1R-2										
100-101-01-11-3  数分類会子  100	<b></b>	ļ								
AO-610-06-18-2  28  大き子   10	<del></del>									
KO-610-00-E1-1   1					_					
AO-610-07-28-2   20-610-07-28-2   20-610-07-28-2   20-610-09-28-2   20-610-09-28-2   20-610-09-28-2   20-610-01-28-3   20-610-01-28-3   20-610-01-28-3   20-610-01-28-3   20-610-01-28-3   20-610-01-28-3   20-610-01-38-2   12-64-66-68   1	0			0						
No-610-10-22-22					0					
NO-610-10-28-2										
KO-610-11-22-3	<u> </u>									
RO-610-12-3E-2   工学総合演習   ②	<del></del>				_			-		
KO-610-13-2R-1					$\cup$		(in)			
SO-610-14-3R-2   工学総合演習   □   □   □   □   □   □   □   □   □					0					
KO-610-16-48-3					_				工学総合演習Ⅱ	K0-610-14-3R-2
Ko-610-17-4R-3   Ko-610-18-3E-3   Physical Process   Physical Pro	0	0								
KO-610-19-38-3	0									
KO-610-19-3E-3	0		$\cup$	_						
KO-610-20-3E-2   KO-610-21-E2-3   海外研究	0			Ŭ					* : * / = *	
KO-610-22-2E-3   締分研究 II										
下ので21-01-1R-2						0			海外研究I	K0-610-21-2E-3
下のでは、	<b></b>					0				
K0-621-04-2R-2	<del></del>									
KO-621-04-2R-2					_					
KO-621-06-2R-2   地盤力学   コンクリート工学   1					_					
KO-621-07-2R-2   XO-621-07-2R-2   XD-621-08-2R-2   XD-621-08-2R-2   XD-621-03-R-3   XD-623-03-38-3   XD-623-03-38-3   XD-623-03-38-3   XD-623-03-38-3   XD-623-03-83-3   XD-624-03-48-3					0				水理学 I	K0-621-05-2R-2
KO-621-08-2R-2   Ry地工学 I   保値力学 II										
KO-621-09-2R-2   横造力学 II	<del></del>									
大田										
KO-621-12-1R-2   RO-621-13-3R-2   環境建設工学総合演習   環境建設工学総合演習   環境建設工学実験   優					_					
KO-621-13-3R-2   環境建設工学総合演習   ② ③ ③ ③ ③ ③ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥					0				鉄筋コンクリート工学	K0-621-11-3R-2
KO-621-14-3R-2   環境建設工学実験   □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □										
KO-621-15-3R-2       環境建設工学設計製図       ⑤       ⑥         KO-622-01-2B-2       水理学Ⅱ       ⑥       ⑤         KO-622-03-3B-2       上下水道工学       ⑥       ○         KO-622-04-1E-2       L下水道工学       ⑥       ○         KO-622-05-2B-2       別量学Ⅱ       ○       ○       ○         KO-622-06-3E-2       松(6-622-07-2E-2       都市計画       ○       ○       ○       ○         KO-622-07-2E-2       ボ(6-622-08-3E-2       本市計画       ○       <				<u></u>				-		
KO-622-01-2E-2   水理学 II	© ©				_					
KO-622-03-3E-2					_					
KO-622-04-1E-2					0				環境工学Ⅱ	K0-622-02-2E-2
KO-622-05-2E-2										
K0-622-06-3E-2       地震工学 I         K0-622-07-2E-2       都市計画         K0-622-08-3E-2       C A D演習         K0-622-09-3E-2       C A D演習         K0-623-01-4E-3       地震工学 I         K0-623-02-3E-3       地震工学 II         K0-623-03-3E-3       コンクリートメインテナンス工学         K0-623-04-3E-3       コンクリートメインテナンス工学         K0-623-05-3E-3       「川港湾工学         K0-623-07-3E-3       「川港湾工学         K0-623-07-3E-3       「大の-623-07-3E-3         K0-623-07-3E-3       「大の-623-07-3E-3         K0-623-08-3E-3       「大の-623-08-3E-3         K0-623-09-3E-3       「本財・大学         K0-624-01-4E-3       施工法および施工管理         K0-624-02-4E-3       建設マネジメント         K0-631-01-2R-2       建築設計製図 I	0					-				
KO-622-07-2E-2   都市計画   ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0					<del>                                     </del>	<u> </u>	-		
K0-622-08-3E-2       交通工学         K0-622-09-3E-2       C A D 演習         K0-623-01-4E-3       地震工学Ⅱ         K0-623-02-3E-3       構造力学Ⅲ         K0-623-04-3E-3       画構造力学Ⅲ         K0-623-04-3E-3       画構造力学Ⅲ         K0-623-05-3E-3       画構造工学         K0-623-05-3E-3       河川港湾工学         K0-623-07-3E-3       環境の化学         K0-623-07-3E-3       尿の-623-08-3E-3         K0-623-09-3E-3       応用水理学         K0-623-09-3E-3       応用水理学         K0-624-01-4E-3       施工法および施工管理         K0-624-02-4E-3       建設マネジメント         K0-631-01-2R-2       建築設計製図 I										
KO-623-01-4E-3   地震工学 II									交通工学	K0-622-08-3E-2
K0-623-02-3E-3       構造力学Ⅲ       ○         K0-623-03-3E-3       コンクリートメインテナンス工学       ○         K0-623-04-3E-3       鋼構造工学       ○         K0-623-05-3E-3       河川港湾工学       ○         K0-623-06-2E-3       環境化学       ○         K0-623-07-3E-3       塚-623-07-3E-3       ○         K0-623-09-3E-3       京原保全工学       ○         K0-623-09-3E-3       応用水理学       ○         K0-624-01-4E-3       施工法および施工管理       ○         K0-624-02-4E-3       建設マネジメント       ○         K0-631-01-2R-2       建築設計製図 I       ○	<u> </u>	Т								
K0-623-03-3E-3       コンクリートメインテナンス工学       □         K0-623-04-3E-3       鋼構造工学       □         K0-623-05-3E-3       ボール を記しています。       □         K0-623-06-2E-3       環境の化学       □         K0-623-07-3E-3       ボール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<del></del>	<del>                                     </del>				-				
K0-623-04-3E-3       鋼構造工学       ○          K0-623-05-3E-3       河川港湾工学       ○          K0-623-06-2E-3       環境の化学       ○          K0-623-07-3E-3       塚境年物工学       ○          K0-623-08-3E-3       塚同保全工学       ○          K0-623-09-3E-3       応用水理学       ○          K0-624-01-4E-3       施工法および施工管理       ○          K0-631-01-2R-2       建築設計製図 I       ○										
K0-623-05-3E-3       河川港湾工学       ○         K0-623-06-2E-3       環境の化学       ○         K0-623-07-3E-3       環境生物工学       ○         K0-623-08-3E-3       尿の合23-09-3E-3       ○         K0-623-09-3E-3       応用水理学       ○         K0-624-01-4E-3       施工法および施工管理       ○         K0-624-02-4E-3       建設マネジメント       ○         K0-631-01-2R-2       建築設計製図 I       ○										
K0-623-07-3E-3       環境生物工学         K0-623-08-3E-3       環境保全工学         K0-623-09-3E-3       応用水理学         K0-624-01-4E-3       施工法および施工管理         K0-624-02-4E-3       建設マネジメント         K0-631-01-2R-2       建築設計製図 I					Ō				河川港湾工学	K0-623-05-3E-3
K0-623-08-3E-3     環境保全工学       K0-623-09-3E-3     応用水理学       K0-624-01-4E-3     施工法および施工管理       K0-624-02-4E-3     建設マネジメント       K0-631-01-2R-2     建築設計製図 I	<u> </u>	$oxed{oxed}$								
K0-623-09-3E-3     応用水理学       K0-624-01-4E-3     施工法および施工管理       K0-624-02-4E-3     建設マネジメント       K0-631-01-2R-2     建築設計製図 I	<del></del>					-				
K0-624-01-4E-3     施工法および施工管理       K0-624-02-4E-3     建設マネジメント       K0-631-01-2R-2     建築設計製図 I	<u> </u>									
K0-624-02-4E-3     建設マネジメント     ○       K0-631-01-2R-2     建築設計製図 I     ○     ⑤								L		
					0					
VA CO1 AO AD A 7 7 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0									
K0-631-02-2R-2   建築設計製図 II   ○   ○   ○   ○	0									
K0-631-03-3R-3   建築設計製図IV   □   □   □   □   □   □   □   □   □	0					+				
KO-632-01-2R-2   建築計画 I   ○     ○	0					+		L		
K0-632-02-2R-2 建築計画Ⅱ ○ ©	0									
K0-632-03-3E-3   建築計画Ⅲ   ○   ○     ○	0			0						
K0-632-04-2E-2   住居計画   ②	<u> </u>									
K0-632-06-3E-2   四件・近代建築史   ②										
K0-633-01-2R-2 建築環境工学 ◎					0			1		

		Γ		学位将	受与の方針(	ディプロマオ	ポリシー)		
		現代をよく	高度な知的	ものごとを			示すことがで	きる	課題を発見
科目ナンバリング	科目名	生きついています。と、教踏察	活かな能が、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	広視識る考値をが く点し、識法では、 を ります。 は 記方観示すき る が こ 窓 か 、 職 に 理 さ る が 。 が き で さ で さ で さ で さ で さ で さ で さ で う で う で う	(1) 土木工学、建 環境工学、建知 業業に 基会 期間 い要 に、社会問題で リートリートリートリートリートリートリートリートリートリートリートリートリートリ				し、その その た と 学 終 合 で き る る る る と 、 ろ と 、 ろ と る ろ る る う る る う る る う る る う る る う る る る る
K0-633-02-3E-3	建築環境計画				0				
K0-634-01-2R-2	建築設備				0				
K0-634-02-3E-3	建築設備計画				0				
K0-635-01-1R-2	力学および演習				0				
K0-635-02-2E-2	構造力学Ⅰおよび演習				0				
K0-635-03-2E-2	構造力学Ⅱ				0				
K0-635-04-3R-2	建築構造力学				0				
K0-635-05-3E-2	地震工学 I				Ö				
K0-636-01-2R-2	建築構法				0				
K0-636-02-3E-3	鉄筋コンクリート工学				0				
K0-636-03-3E-3	鋼構造工学				Ö				
K0-637-01-2R-2	建築材料学				0				
K0-637-02-2E-2	コンクリート工学				0				
K0-638-01-3E-2	生産管理				0				
K0-638-02-4E-3	施工法および施工管理				0				
K0-639-01-3R-2	建築法規			0	Ü			(0)	
K0-640-01-1R-2	測量学 I			Ŭ	0				
K0-640-02-1E-2	測量学Ⅱ				0				
K0-640-03-1R-1	環境建設基礎数学演習				0				
K0-640-04-2E-2	測量実習製図				Ö				
K0-640-05-2E-2	都市計画				Ô				
K0-640-06-3E-2	交通工学				Ö				
K0-640-07-3E-2	CAD演習				0				
K0-650-01-1E-3	特別講義				0				
K0-701-01-4R-2	工業技術概論			0	0				
K0-701-02-4R-2	職業指導I			0	(0)				
K0-701-03-4R-2	職業指導Ⅱ			0	(0)				
K0-701-03-4R-2 K0-702-01-1R-1	現代教職論			0					
K0-702-01-1R-1 K0-702-02-1R-1	教育基礎論			0					
K0-702-03-1R-2	教育の制度と経営			0					
K0-702-04-2R-2	教育心理学			0	1				
K0-702-04-2R-2 K0-702-05-2R-2	教育課程論			0					
K0-702-06-2R-2	教育の方法と技術			0	1				
K0-702-07-2R-2	教育相談の理論と方法			0					
K0-702-08-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			0					
K0-702-09-3R-3	工業科教育法(概論・理論)			Ô	0				
K0-702-10-3R-3	工業科教育法(実践・応用)			Ö	0				
K0-702-11-3R-3	特別支援教育論			Ö	0				
K0-702-12-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			Ŏ	0				
K0-702-13-4R-3	教育実習 I			_	Ö				0
K0-702-14-4R-3	教職実践演習(中・高)			0					(6)

# 【環境建設工学科の学習・教育到達目標と達成度】

学習・教育到達目標達成度チェック表(2017(平成29)年度入学生より)

項	目	学習・教育目標	科目数	達成科 目数
	A	地球環境問題などに対する多面的視点を持ちつつ、東北という地域特性を 理解した環境建設技術者としての視点を身につける[多面的視点を持つ技 術者]	12	6
	В	キリスト教を通して社会人としての良識と一般教養を着実に身につけるとともに、技術者としての倫理観を備え、科学技術と自然・社会との関わりを考えて行動できる素養を身につける[社会人としての良識と技術者倫理]	9	5
	C - 1	数学、自然科学と工学基礎に関する知識や学力を修得し、それを問題解決 に活用できる応用力を身につける [数学、科学技術の知識と応用能力]	14	8
С	C - 2	情報技術に関する基本的な知識とスキルを修得し、実社会で活用できる能力を身につける[情報技術のスキルと応用能力]	4	2
	D	環境建設工学における基礎的な専門知識と学力を修得し、中核となる技術 者として応用・展開できる能力を身につける[専門科目の基礎学力と応用 能力]	18	15
	E	社会の要求を解決するために科学技術に関する情報を積極的に入手し、課題に対する計画、遂行、分析・評価、改善のサイクルを通じて、問題解決のための能力を身につける[問題解決のためのデザイン能力]	6	6
E	F - 1	技術的・社会的に十分通用する日本語を使える能力を身につける [日本語表現能力]	6	5
F	F - 2	英語によるコミュニケーション基礎能力を修得する [国際コミュニケーション基礎能力]	6	4
	G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事 さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得 に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。	8	8
	Н	卒業研修・実験・演習・実習などを通じて、計画立案、遂行、とりまとめ までを自ら行うことのできる能力を身につける[立案能力と総括能力]	4	4

各教育目標に対応する科目については、別に配布する「達成度の自己点検表」を見てください。

## 卒業研究 I の単位修得について

卒業研究Ⅰは以下の教育目標に対応する科目です。卒業研究Ⅰの単位修得に関する評価項目は以下の通りです。

項目	関連する教育目標	評 価 項 目
1	Е	課題の問題と背景を理解し、それを解決する方法を導き適切に実施する ことにより、課題を解決している。
2	F – 1	ゼミや中間報告の資料が、背景・目的・結果・考察等、一貫性のある内容を有し、まとめられ、理解しやすいように作成されている。
3	G	前期を通じて、卒業研究に対して自ら積極的に学び、取り組んでいる。
4	Н	自ら研究・調査を計画・実行し、ゼミの資料や中間報告の資料を自分の 力でとりまとめて作成している。

## 卒業研究Ⅱの単位修得について

卒業研究Ⅱは以下の教育目標に対応する科目です。卒業研究Ⅱの単位修得に関する評価項目は以下の通りです。

項目	関連する教育目標	評 価 項 目
1	Е	課題の問題と背景を理解し、それを解決する方法を導き適切に実施する ことにより、課題を解決している。
2	F – 1	ゼミや中間報告の資料が、背景・目的・結果・考察等、一貫性のある内容を有し、まとめられ、理解しやすいように作成されている。
3		卒業論文発表会での学科教員による評価の平均点を用いる。
4	G	後期を通じて、卒業研究に対して自ら積極的に学び、取り組んでいる。
5	Н	自ら研究・調査を計画・実行し、卒業論文を自分の力でとりまとめて作成している。

## 環境建設工学総合演習の単位修得について

環境建設工学総合演習は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学総合演習の単位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	各科目に関する応用的な問題・課題を解くことができる。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。

## 環境建設工学実験の単位修得について

環境建設工学実験は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学実験の単位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	構造工学、水理学、地盤工学、材料・コンクリート工学、環境工学に関して実験 を通じて専門知識を習得するとともに、習得した専門知識を応用・展開する能力 を身につける。
E	実験結果について、分析評価し、解決することにより、デザイン能力の基礎を身 につける。
F – 1	実験レポートの作成により、物事を説明するための文章能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。
Н	実験を通して、計画立案、遂行、とりまとめまでを自ら行うことのできる能力を 身につける。

## 環境建設工学設計製図の単位修得について

環境建設工学設計製図は、以下の教育目標に対応する科目です。環境建設工学設計製図の単位修得のために は以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
D	環境建設工学に関して製図を通じて専門知識を習得するとともに、習得した専門 知識を応用・展開する能力を身につける。
E	課題に関する設計について、成果を自ら分析評価しながら適切な構造物を設計す る能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。

### フレッシュパーソンセミナー・フレッシュマンセミナー【の単位修得について

フレッシュパーソンセミナー・フレッシュマンセミナー I は、以下の教育目標に対応する科目です。フレッシュパーソンセミナー・フレッシュマンセミナー I の単位修得のためには以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
A	地球環境問題や建設技術に関するビデオを視聴し、地域特性を理解する。
В	技術者としての倫理を学ぶ
F – 1	レポート、発表や、教員とのコミュニケーションから日本語を使う能力を身につ ける。

# 研究・発表の技法・フレッシュマンセミナーⅡの単位修得について

研究・発表の技法・フレッシュマンセミナーⅡは、以下の教育目標に対応する科目です。研究・発表の技法・フレッシュマンセミナーⅡの単位修得のためには、以下の全ての項目を満たすことが必要です。

関連する教育目標	説明
E	実験、演習を通して、レポートにとりまとめることのできる能力を身につける。
F - 1	指定図書に関する発表・質疑応答を通じてコミュニケーション能力を身につける。
G	卒業研修、実験、演習、実習などを通じて、自ら積極的に学ぶことの大事さを認識し、建設産業の中核となる技術者として、必要な各種の資格取得に向けて「継続的に学習する能力」を身につける。
Н	実験、演習を通して、レポートに取りまとめることのできる能力を身につける。

## 環境建設工学科課程表 (平成29 (2017) 年度入学者より適用)

					П			開		講	- 学	<u> </u>	年	<u> </u>			mm1677			
						1年	Ē		2年		·	3年			4年	Ξ.	教職	建築士	必修	備考
×	. 分	<del>}</del>	科 目 名	開講期	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	} ●印		修科目 職関連	科目(選択、必修) 指定科目
			聖書を学ぶ	半期	•	_	2												0	◇環境建設工学科を卒業し、学士
		١, ١	キリスト教の歴史と思想 キリスト教学A (キリスト教と倫理)	半期半期	-		2						2						0	号を得るためには124単位以上 を修得しなければならない。
		人	キリスト教学B(キリスト教と宗教)	半期	┢								2						-	
	Т	間的	キリスト教学C (キリスト教と文化)	半期									2							4科目のうち1科目2単位 以上を修得すること。計4
	G	基	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	半期									2						J	単位まで卒業単位に算入す
	ベ	礎	市民社会を生きる 地球社会を生きる	半期半期	•		2				_									ることができる。
	,		科学技術社会を生きる	半期	•		2													「人間的基礎」から10単位 以上を修得すること。
			キャリア形成と大学生活	半期	•		2													
	シ		クリティカル・シンキング 数理的思考の基礎	半期半期	•		2													
	ツ	知	統計的思考の基礎	半期	•		2													
	ク	的	科学的思考の基礎	半期	•		2													「知的基礎」から10単位以
教		基	情報化社会の基礎 メディア・リテラシー	半期半期	•		2				_			_						上を修得すること。
養		礎	読解・作文の技法	半期			2													
教			研究・発表の技法	半期		•	_												0	
育			哲学 芸術論	半期半期			2			2										
		人		半期				•		2								*		
科			心理学	半期				•		2										
目	33/4	文	社会学	半期	_			•		2										「人文社会」から10単位以
	学	社	経済学 経営学	半期半期	┢					2										上を修得すること。
	科	会	法学	半期					•	2										
	教		日本国憲法	半期		•	2										◆必修			
	養		東北地域論 健康の科学	半期半期	├				•	2										
	科		生命の科学	半期	$\vdash$	•	2													
		自	情報リテラシー	半期	•		2										◆必修		0	
	目	然	フレッシュパーソンセミナー 基礎数学演習	半期半期		•	1										-		0	「自然科学」から8単位以
		科	基礎物理演習	半期			1												0	上を修得すること。
		学	基礎化学演習	半期	•		1													
			技術者倫理	半期	┝	•	2						0				-	*	0	
	地	Щ	知的所有権 震災と復興	半期半期			2						2							
	地域教育科		地域の課題 I	半期	Ŭ					2									0	「地域教育科目」から2単
	育科		地域の課題Ⅱ	半期						2			4							位以上を修得すること。
	目	$\dashv$	地域課題演習 英語 I A	通年 半期			1						4						0	
			英語 I B	半期			_												0	「第1類」から必修4単位
外	第 1	L類	2 41111	半期				•		1									0	以上を修得すること。
			英語 Ⅱ B 英語コミュニケーションズ	半期半期	$\vdash$					2							◆必修		0	週2回開講
国		$\neg$	ドイツ語	半期	•		2			_							▼ 2. IV			週2回開講
語	第2	2類	フランス語	半期		•	2													週2回開講
科	-	,	中国語 韓国・朝鮮語	半期半期			2													週2回開講 週2回開講
目			ベーシック英語	半期	•		1													「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修を指示された者
	第3	3類	英語Ⅲ	半期							•		1							後期に開講される「英語IA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業単位に含まない。
保健	· 体育和	科目	体育講義 スポーツ実技	半期通年	•	•	2										◆必修			
		$\dashv$	日本事情A	半期	•		2										▼ Zi 119			外国人留学生は、次により10単位までを外国
外景	第 1	L類	日本事情B	半期			2													人留学生科目の単位で代えることができる 日本事情Aは、教養教育科目学科教養科目の
国人			日本事情C	半期			2													人文社会2単位 日本事情Bは、教養教育科目学科教養科目の
営		]	日本語 I A	半期		-	1												igsquare	自然科学2単位 日本事情Cは、保健体育科目の「体育講義」
人留学生科目	第 2	2類	日本語IB	半期	-		1			1										2単位 日本語 I Aは「英語 I A」1単位、日本語 I Bは「英語 I B」1単位
			日本語ⅡA 日本語ⅡB	半期半期	-					1										日本語ⅡAは「英語ⅡA」1単位、日本語Ⅱ Bは「英語ⅡB」1単位
			口不阻止D	一十知						1										12 and A TERM

		_						開		溝			年			1713	再期はンフハス・腐 		
						1 年		1713	2年			3年	<u> </u>		4年	-	教職 建築士	必修	備 考
	· /		到 日 夕	開		<u> </u>											、◎印-必修科		<u>I</u>
	<u>5</u>	J	科 目 名	講期	前	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	│	修科目	
					期	期	位	期	期	位	期	期	位	期	期	位			重科目(選択、必修) Stropt R
			11 mm \\\ -	.1. 100		_	_										★印-建築士		)指定科目 
			物理学I	半期			2	Ļ										0	
			物理学Ⅱ	半期						2									「学部共通専門科目」から
			微分積分学 I	半期			2											0	28単位以上修得すること。
			微分積分学Ⅱ	半期	_		2											0	(必修20単位)
			線形代数学	半期			2											0	
	学		自然科学実験ファンダメンタルズ 微分方程式	半期半期				•		2									
	部		フーリエ解析	半期						2									
			確率統計学	半期						2									
	共		プログラミング基礎	半期						2								0	
	通		プログラミング応用	半期						2									
	専		工業英語	半期					_				2						
			工学総合演習 I	半期					•	1								0	1
	門		工学総合演習Ⅱ	半期									1					0	
	科		ジュニアセミナー	半期									2					0	
	目		卒業研究 I	半期										•		3		0	
	П		卒業研究Ⅱ	半期												3		0	卒業研究Ⅱは卒業試験を含む
			学外見学	半期									1						
			インターンシップ	半期									1						
			キャリア・デザイン	半期	_								2						
			海外研究 I	半期					_	2									
		$\blacksquare$	海外研究Ⅱ	半期	_	_	_			2									No bed on the
			力学および演習	半期		•	3										•	0	週2回開講
			環境建設基礎数学演習	半期			1			0								0	
			環境建設計画 構造力学 I および演習	半期半期	_					3							•	0	週2回開講
		必	水理学 I	_ <del>- 上期</del> - 半期	_					2							•	0	週 Z 凹 所 神
		~	地盤力学 [	半期						2							•	0	
		修	コンクリート工学	半期	$\vdash$					2							•	0	
		12	環境工学I	半期	$\vdash$					2							•	0	
		科	構造力学Ⅱ	半期					•	2							•	0	
		' '	地盤力学Ⅱ	半期					_				2				•	0	
	環	Ħ	鉄筋コンクリート工学	半期									2				•	0	
	境		測量学 I	半期	•		2											0	
			環境建設工学総合演習	半期									1					0	
学	土		環境建設工学実験	半期									2				•	0	
	木		環境建設工学設計製図	半期									2				<b>•</b>	0	
科	コ		水理学Ⅱ	半期						2							•		
専		專	環境工学Ⅱ	半期						2			_				•		
門門	]	門基	上下水道工学	半期	_	_	-						2	_					
' '	ス	礎	測量学Ⅱ	半期	_		2			- 0									「専門基礎・基盤科目」か
科	車	基	測量実習製図	半期	$\vdash$			•		2			n				•		ら8単位以上修得すること。
目		盤科	地震工学 I 都市計画	半期半期	-			-		2			2				<b>—</b>		J. 0
	門	科目	<ul><li></li></ul>	半期	$\vdash$								2						
	科		CAD演習	半期	$\vdash$								1						
	目		地震工学Ⅱ	半期	$\vdash$								1			2			
		環	構造力学Ⅲ	半期							•		2						
		境・	コンクリートメインテナンス工学	半期									2				•		
		社会	鋼構造工学	半期				İ				_	2				•		  「環境・社会基盤工学科目」
		会基	河川港湾工学	半期									2						から6単位以上修得するこ
		盤工	環境の化学	半期						2							•		と。
		盤工学科	環境生物工学	半期									2						
		目	環境保全工学	半期									2				•		
			応用水理学	半期	<u> </u>								2						
		連専 科門	//BID/244 01 0 //BID [1-E	半期	_			_						•		2			
		目関	建設マネジメント	半期												2			

				1	Т			開	36 pt	- 基	一学		年				冊別はノノ			
						1年			2年	P)·		3年			4年	-	教職	建築士	必修	備考
	5	示	   科 目 名	開講														- 必修科		
				期	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		<ul><li>選択必</li><li>工業数</li></ul>	修科目 職関連	
					///	793	1.22.	793	793	1.22	793	741	1.22	793	793	1.22				指定科目
		Z-±1-	建築設計製図I	半期				•		2							•	*	0	
		建築設計製図	建築設計製図Ⅱ	半期	t				•	3								*	0	「建築設計製図」から7単
		計製	建築設計製図Ⅲ	半期									2					*	0	位以上を修得すること
		図	建築設計製図IV	半期								•	3					*		
			建築計画 I	半期				•		2							•	*	0	
		7-1-1	建築計画Ⅱ	半期						2								*	0	
		建築計	建築計画Ⅲ	半期							•		2					*		「建築計画」から8単位以
		計画	住居計画	半期						2								*		上を修得すること。
		Ш	西洋・近代建築史	半期									2					*		
			日本建築史	半期									2					*		
		境建 工 学 環	建築環境工学	半期				•		2							•	*	0	「建築環境工学」から2単
	建	学環	建築環境計画	半期									2					*		位以上を修得すること。
	-	設建備築	建築設備	半期						2							•	*	0	「建築設備」から2単位以
	築	備築	建築設備計画	半期									2					*		上を修得すること。
学	コ		力学および演習	半期			3										•	*	0	週2回開講
科	1	構	構造力学Iおよび演習	半期				•		3							•	*		週2回開講
車	ス	造力学	構造力学Ⅱ	半期						2							•	*		「構造力学」から7単位以
`		学	建築構造力学	半期									2					*	0	上を修得すること。
門	専		地震工学 I	半期								•	2					*		
科	門	建築	建築構法	半期				•		2							•	*	0	「建築一般構造」から4単
目	科	般	鉄筋コンクリート工学	半期									2				•	*		位以上を修得すること。
	目	構造	鋼構造工学	半期									2				•	*		,
		建築材料	建築材料学	半期				•		2							•	*	0	「建築材料」から2単位以
			コンクリート工学	半期	$oxed{oxed}$					2							•	*		上を修得すること。
		建築生産	生産管理	半期									2					*		「建築生産」から2単位以
			施工法および施工管理	半期	<u> </u>											2		*		上を修得すること。
		法建 規築	建築法規	半期	_								2				•	*	0	「建築法規」から2単位を修得すること。
			測量学I	半期			2											*	0	
			測量学Ⅱ	半期	L	•	2											*		
		建筑	環境建設基礎数学演習	半期	•		1												0	「建築関連」から8単位以
		築関	測量実習製図	半期				•		2								*		上を修得すること。
		連	都市計画	半期	_					2	_		_					*		
			交通工学	半期	-								2					*		
	BB M	- fil 11	CAD演習	半期	$\vdash$		0						1					*		
		科目		半期	├		2									0	▲ N We			
教育			工業技術概論 職業指導 I	半期	-			_						•		2	<u> </u>			
状のする				半期	-											2	<u> </u>			
			職業指導Ⅱ  田仏教職会	半期半期	•		2									2	<ul><li>◆必修</li><li>◆必修</li></ul>			
			現代教職論	通年			4													
			教育原理 教育心理学	半期			4			2							<ul><li>◆必修</li><li>◆必修</li></ul>			
	女ケ		教育課程論	半期	$\vdash$					2							◆必修			
	職		教科教育法 I (工業)	半期	$\vdash$					Δ			2				◆必修			
	等に		教科教育法Ⅲ (工業)	半期	-								2				◆必修			
	関		特別活動の理論と方法	半期	$\vdash$								2				◆必修			
	りる		教育方法	半期	-					2			4				◆必修			
	教職等に関する科目		教育の相談と指導 I	半期	$\vdash$					2							◆必修			
	П		教育の相談と指導Ⅱ	半期	$\vdash$					2							◆必修			
			教育実習Ⅰ	<del>上</del>	$\vdash$											3	◆必修			
			教職実践演習(中・高)	半期	$\vdash$											2	◆必修			
			水水水水水田 (十一同)	一十知				Ц									▼光小鳥			

#### 卒業に必要な最低修得単位数

環境土木コース

	TG ベーシック	人間的基礎	10	
数 美 数 去 利 口	IG ( )	知的基礎	10	20
教養教育科目	学科教養科目	人文社会	10	38
	子件教食件日	自然科学	8	
地域教育科目			2	,
外国語科目		第1類(必修)	4	
学部共通専門科目			28	
		必修科目	30	
	理校上十一一	専門基礎・基盤科目	8	
<b>公利東明利日</b>	環境土木コース   専門科目	環境・社会基盤工学	C	
学科専門科目	等门作日 	科目	6	
		専門関連科目		
	関連科目			52
教養教育科目、地域		科目第1類~第2類、		
保健体育科目、他等	学部・他学科開講『	專門教育科目、環境建		
設工学科他コース和	計目、単位互換の抗	協定を締結している他		
大学開講科目				
		(合計8単位まで)		
卒業単位				124

#### 4年次進級に必要な最低修得単位数

環境土木コース

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類~第2類	40
学部共通専門科目	22
(ジュニアセミナーを含むこと)	22
学科専門科目	
(以下の必修科目を含むこと)	38
1 環境建設工学実験	30
2 環境建設工学設計製図	
進級単位	100

### 卒業に必要な最低修得単位数

建築コース

	TG ベーシック	人間的基礎	10	
   教養教育科目	16.4-299	知的基礎	10	38
狄食狄月杆日	学科教養科目	人文社会	10	30
	子件教食件日	自然科学	8	
地域教育科目			2	
外国語科目		第1類(必修)	4	
学部共通専門科目			28	
		建築設計製図	7	
		建築計画	8	
		建築環境工学	2	
		建築設備	2	
	建築コース専門	構造力学	7	
学科専門科目	科目	建築一般構造	4	
		建築材料	2	
		建築生産	2	52
		建築法規	2	02
		建築関連	8	
	関連科目			
教養教育科目、地域	战教育科目、外国語	科目第1類~第2類、		
保健体育科目、他生	学部・他学科開講専	専門教育科目、環境建		
設工学科他コース和	計目、単位互換の抗	協定を締結している他		
大学開講科目				
		(合計8単位まで)		
卒業単位				124

### 4年次進級に必要な最低修得単位数

建築コース

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類~第2類	40
学部共通専門科目	22
(ジュニアセミナーを含むこと)	44
学科専門科目	
(以下の必修科目を含むこと)	
1 建築設計製図 I	38
2 建築設計製図Ⅱ	
3 建築設計製図Ⅲ	
進級単位	100

#### 〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針(ディプロマポリシー)のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている②は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、〇は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・ 目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

#### 〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。

中分類または小分類がない

場合は0。

A 言語文化学科 S 情報科学科

R 地域構想学科



		学	位授与の	方針(ディン	プロマポリシ・	—)
		現代をよく	高度な知的	ものごとを	専攻分野の専	課題を発見
		生きること について、	活動に必要 な汎用的諸	広く多様な 視点から認		し、その解決 のために学修
科目ナンバリング	科目名	キリスト教	技能・能力	識し、異な	識や思考の方	成果を総合的
17 11 7 2 7 1 7 2 7	ППП	の教えを踏 まえた考察	及び英語力 を活用でき	る認識・思 考方法や価	法を説明でき る	に活用できる
		ができる	3	値観に理解		
				を示すこと ができる		
K111-01-1R-1	聖書を学ぶ	©		0		
K111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	0		Ö		
K111-03-3C-2	キリスト教学A(キリスト教と倫理)	0		0		
K111-04-3C-2	キリスト教学B(キリスト教と宗教)	0		0		
K111-05-3C-2	キリスト教学C(キリスト教と文化)	0		0		
K111-06-3C-2 K111-07-1E-1	キリスト教学D(キリスト教と現代社会) 市民社会を生きる	<u></u>		<u> </u>		
K111-08-1E-1	地球社会を生きる			0		
K111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			0		
K111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			0		
K112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		0	0		
K112-02-1E-1 K112-03-1E-1	数理的思考の基礎 統計的思考の基礎		(i) (ii) (ii		-	
K112-03-1E-1 K112-04-1E-1	科学的思考の基礎	<b>—</b>	0	0		
K112-04-1E-1 K112-05-1E-1	情報化社会の基礎		0	0		
K112-06-1E-1	メディア・リテラシー		0	0		
K112-07-1E-1	読解・作文の技法		0			
K112-08-1R-1	研究・発表の技法		0			
K121-01-2E-1 K121-02-1E-1	哲学芸術論			(i) (ii) (ii	<del>                                     </del>	
K121 02 1E 1 K121-03-2E-1	歴史学			0		
K121-04-2E-1	心理学			0		
K121-05-2E-1	社会学			0		
K121-06-2E-1	経済学			0		
K121-07-2E-1	経営学			0		
K121-08-2E-1 K121-09-1E-1	法学 日本国憲法	<u> </u>		© ©		
K121-10-2E-1	東北地域論			0		
K122-01-2E-1	健康の科学		0			
K122-02-1E-1	生命の科学		0			
K122-03-1R-1 K122-04-1R-1	情報リテラシー フレッシュパーソンセミナー		0		(i)	
K122-04-1R-1 K122-05-1R-1	基礎数学演習		0		$\odot$	
K122-06-1R-1	基礎物理演習		0			
K122-07-1E-1	基礎化学演習		0			
K122-08-1R-1	技術者倫理			0	0	0
K122-09-3E-1	知的所有権				0	
K200-01-1E-1 K200-02-2R-1	震災と復興 地域の課題 I			0		(i) (ii) (ii
K200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ					0
K200-04-3E-2	地域課題演習					0
K310-01-1R-1	英語IA		0	0		
K310-02-1R-1	英語IB		0	0		
K310-03-2R-2 K310-04-2R-2	英語ⅡA 英語ⅡB	<b></b>	(i) (ii) (ii	0	-	
K310-04-2R-2 K310-05-2E-2	央語 II B 英語コミュニケーションズ		0	0		
K320-01-1E-1	ドイツ語		0	0		
K320-02-1E-1	フランス語		0	Ö		
K320-03-1E-1	中国語		0	0		
K320-04-1E-1	韓国・朝鮮語		0	0		
K330-01-1E-0 K330-02-3E-3	ベーシック英語 英語Ⅲ	<u> </u>	(i) (ii) (ii	0	-	
K400-01-1E-1	体育講義			0		Ī
K400-02-1E-1	スポーツ実技			0	1	
K510-01-1E-1	日本事情A		0	0		
K510-02-1E-1	日本事情B		0	0		
K510-03-1E-1	日本事情C	<u> </u>	0	0	-	
K520-01-1E-1 K520-02-1E-1	日本語 I A 日本語 I B		© ©	0	<del>                                     </del>	
K520-03-1E-1 K520-03-2E-2	日本語IIA		0	0		
K520-04-2E-2	日本語ⅡB		0	0	1	
						•

		I		学位接	受与の方針(	ディプロマオ	ざリシー)		
		現代をよく	高度な知的	ものごとを		次の学修成果を		きる	課題を発見
科目ナンバリング	科目名	生さついてトラウンスを考えていること、教踏察ができる。	活な技及を活動別に必要諸力力き	広視識る考値をが く点し、識法でする は記方観示で もい、識法でする ができる。	(1) 野る学徒とは、一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一	(2) 求解ににをで、題析の力を対して、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では	(3) を門知て修と成と要この通分離自をも果めをとて、基用なる研りのする。 のののでは、これのでは、これのでは、これのでは、説ができた。 いっぱい いっぱい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい は	(4) 工学系の 幅ないい 事持ちに、での またでの またで者との が が に 、での との は の性に の 性 に の 性 に の に に の に の に の に の に の	し、その解にを 会の解にを 学修合 はの できる と できる
K610-01-1R-2	物理学 I				0				
	物理学Ⅱ				0				
	初年子II 微分積分学 I				0				
	微分積分学Ⅱ				0				
	線形代数学				0				
K610-06-1E-1	自然科学実験ファンダメンタルズ				0	0			0
	微分方程式				0				
	フーリエ解析				0				
	確率統計学				0				
	プログラミング基礎 プログラミング応用				0				
	フロクフミンク心用 工業英語		0		0				
	工業央部 工学総合演習 I	<b>—</b>	9	<del>                                     </del>	©				
	工子総百偶百 I 工学総合演習 II				0				
	エチルロ 横目 11 ジュニアセミナー					0	0	0	0
	卒業研究 I	0				0	0	Ü	0
K610-17-4R-3	卒業研究Ⅱ	0				0	0		0
K610-18-3E-3	学外見学			0		0			0
	インターンシップ			0		0			0
	キャリア・デザイン			0					
	海外研究 I			0					
	海外研究Ⅱ			0					
	力学および演習 環境建設基礎数学演習				0				
	環境建設計画				0				
	構造力学Ⅰおよび演習				0				
K621-05-2R-2	水理学 I				0				
	地盤力学 I				0				
	コンクリート工学				0				
	環境工学Ⅰ				0				
	構造力学Ⅱ		-	-	0				
	地盤力学Ⅱ 鉄筋コンクリート工学				0				
	測量学 I				0				
	環境建設工学総合演習				0				
	環境建設工学実験		İ	İ	0	0			0
	環境建設工学設計製図				0	0			0
	水理学Ⅱ				0				
	環境工学Ⅱ		-	ļ	0				
	上下水道工学		-	-	0				
	測量学Ⅱ 測量実習製図	<b>—</b>	-	-	0				© ©
	例里天自衆凶 地震工学 I		<b> </b>	<b> </b>	0				
	都市計画				0				
	交通工学				Ö				
K622-09-3E-2	CAD演習				0				
	地震工学Ⅱ				0				
	構造力学Ⅲ				0				
	コンクリートメインテナンス工学				0				
	鋼構造工学 河川港迹工学		-	-	0				
	河川港湾工学 環境の化学		<del>                                     </del>	-	0				
	環境の化子 環境生物工学				0				
	環境保全工学				0				
	応用水理学				Ö				
	施工法および施工管理	I			Ō				
VI TL U				<u> </u>					

		1		学位指	受与の方針(	ディブロマオ	ざリシー)		
		現代をよく	高度な知的	ものごとを			示すことがで	きる	課題を発見
科目ナンバリング	科目名	先生にキのまが とるいて入生にキのままが できつり教えでき がが ないないないできる。 ないないないできる。 ないないないできる。 ないないないないないないないないできる。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	活な技及をる のは、 に 的 に が 所 に び 活 活 形 活 だ 活 活 活 活 活 活 活 着 用 た き る る る る る る る る る る る る る る る る る る	広視識る考値をが な認な思価解と は認な思価解と	(1) 野る学徒と自工基学及時基々に対象を対して、 工基学及時基々に対して、 対象の 関係の 対象に 個野職の方認法で、 でいる。	(2) 求解ににをで、関析のでは、関析のでは、関目の学のでは、関目のは、関目のでは、関目のでは、関目のでは、関目のでは、関目のでは、関目のでは、関目のでは、関目のは、関目のでは、関目のは、関目のでは、関目のは、関目のは、関目のは、関目のは、関目のは、関目のは、関目のは、関目の	(3) を門知て修と成と要この事礎し学と究ま概るをとの話がない。 これの話的が、正知なるのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのというでは、これのというでは、これのというでは、これのというでは、これのというでは、これのでは、これ	(4) 工学系のの 幅象に、での異味の工と での表ので を が、での を が、で が に で が に で が に で る で の と の に の に の た て の と の に る し の に り に の に の に の に の に の に の に り に り に	し、その解 決のために 学修成果を 総合的に活
					る。				
K631-01-2R-2	建築設計製図I			0		0			0
K631-02-2R-2	建築設計製図Ⅱ			0		0			0
K631-03-3R-3	建築設計製図Ⅲ			0		0			0
K631-04-3E-3	建築設計製図IV			0		0			0
K632-01-2R-2	建築計画 I			0		0			0
K632-02-2R-2	建築計画Ⅱ			0		0			0
K632-03-3E-3	建築計画Ⅲ			0		0			0
K632-04-2E-2	住居計画			0					
K632-05-3E-2	西洋・近代建築史			0					
K632-06-3E-2	日本建築史			0					
K633-01-2R-2	建築環境工学				0				
K633-02-3E-3	建築環境計画		1		0				
K634-01-2R-2	建築設備				0				
K634-02-3E-3	建築設備計画				0				
K635-01-1R-2	力学および演習				0				
K635-02-2E-2	構造力学Iおよび演習				0				
K635-03-2E-2	構造力学Ⅱ				0				
K635-04-3R-2	建築構造力学				0				
K635-05-3E-2	地震工学Ⅰ				0				
K636-01-2R-2	建築構法				0				
K636-02-3E-3	鉄筋コンクリート工学				0				
K636-03-3E-3	鋼構造工学		-		0				
K637-01-2R-2	建築材料学	1	-		0				
	世		-		0				
K637-02-2E-2	生産管理	1		<b>.</b>					
K638-01-3E-2					0				
K638-02-4E-3	施工法および施工管理				0				
K639-01-3R-2	建築法規			0				0	
K640-01-1R-2	測量学 I				0				
K640-02-1E-2	測量学Ⅱ				0				
K640-03-1R-1	環境建設基礎数学演習				0				
K640-04-2E-2	測量実習製図				0				
K640-05-2E-2	都市計画				0				
K640-06-3E-2	交通工学				0				
K640-07-3E-2	CAD演習				0				
K650-01-1E-3	特別講義				0				
K701-01-4R-2	工業技術概論			0		0			
K701-02-4R-2	職業指導 I			0		0			
K701-03-4R-3	職業指導Ⅱ			0		0			
K702-01-1R-2	現代教職論			0					
K702-02-1R-2	教育原理		1	0					
K702-03-2R-2	教育心理学			0					
K702-04-2R-2	教育課程論			0					
K702-05-3R-2	教科教育法 I (工業)			0			İ		
K702-06-3R-2	教科教育法Ⅲ(工業)			0					
	特別活動の理論と方法	<b>—</b>	<del>                                     </del>	0	<u> </u>				<b> </b>
K702-08-2R-2	教育方法	<b>—</b>	<del>                                     </del>	0	<u> </u>				<b> </b>
K702-08-2R-2 K702-09-2R-2	教育の伝 教育の相談と指導 I	$\vdash$	<del>                                     </del>	0	1	<b> </b>	<del> </del>	<b> </b>	
		<b>—</b>	-	0	-	-	-	-	<b> </b>
K702-10-2R-2	教育の相談と指導Ⅱ 教育忠羽 I	<b>—</b>	<del>                                     </del>				-		<u></u>
K702-11-4R-2	教育実習 [	-	<del>                                     </del>	0	1				0
K702-12-4R-2	教職実践演習(中・高)			0		<u> </u>			0